

KGA

'05秋・冬号
2005年12月20日発行



目次

平成17年度 関東ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝競技…1	新規加盟倶楽部紹介 ……30
平成17年度 関東シニアゴルフ選手権決勝競技…5	理事会・分科委員会 ……34
平成17年度 関東女子ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝競技…9	月例競技成績表 ……39
特別対談 (3) 千葉県	お知らせ ……40
1都10県の加盟倶楽部の活動状況を聞く ……12	
平成17年度 関東アンダーハンディキャップゴルフ選手権決勝競技…19	表紙Photo 関東ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝競技 袖ヶ浦カンツリークラブ 袖ヶ浦コース (撮影・片山晴美/KGA広報委員)
平成17年度 関東ミッドシニアゴルフ選手権決勝競技…26	

KGA 関東ゴルフ連盟

強豪 ホームコースで 阪田哲男選手が初栄冠

文・森口静彦 (KGA広報委員) 写真・片山晴美、塚越克一 (KGA広報委員)

関東ミッドアマの出場資格は30歳(本年度:1975年以前の誕生)以上、即ち、ジュニア、学生を除く社会人を中心とした競技会。予選(5会場)を勝ち抜いて決勝競技に駒を進めたのは138名、それに前年度同競技の上位5位タイまでのシード選手8名を加えた146選手が覇を争うのである。本年度決勝出場者の最高齢は62歳(1名)。初資格者の出場者は、残念ながら皆無。年齢別に見ると、30代32名、40代67名、50代43名、60代4名、平均年齢は45.5歳である。

開催コースは袖ヶ浦カンツリークラブ・袖ヶ浦コース(昭和35年11月開場、設計:和泉一介)。古くは33年前の関東オープン、最近では1995年の関東アマ等を開催した関東有数のコース。また第3回ミッドアマ選手権に次いで今回が2回目の開催であり、既にお馴染みの選手も多い。ただし、前回まではコウライグリーンだったが、今回は初めてのベントグリーンでの開催であり、また違った展開が予想された。

*大会初日、阪田選手4アンダーで独走

天気晴朗なれど風強し。秒速5メートルの風が吹いて選手達を悩ませた。このコンディションの中で、阪田選手はアウト2バーディ、1ボギーの35。インに入って3バーディ、ノーボギーと完璧なプレーでスコアを伸ばし33、トータル68、-4で初日のプレーを終えた。阪田選手は「風があったので、緊張感を持ってプレーしたのが、好スコアに繋がった」と言う。2位以下は、石井保行選手(清川)71、渡辺幹根選手



2位に4打差をつけて優勝した阪田選手

(スプリングフィルズ)72、金子光規選手(レインボウ)、松田永基選手(清川)73と続く。

*大会最終日、先頭集団の トップを走り続ける阪田選手

天気は初日より更に穏やか、時折、吹く風も2メートル程度で爽やかな秋のゴルフ日和だ。アウトスタートの最終組は阪田、石井、渡辺、金子の4選手。1番ホール、ティーインググラウンドで同組のスタートを見送った。注目の阪田選手はドライバースhotsを左ラフに打ち込み、ウッドで放った第2打は、高く舞い上がって前方の松の梢に触れながらも、右に軽く進路を変え、見事2オン。2パットのパー。この一日のプレーを暗示するかのようなショットだった。

先頭集団は阪田選手が他の3選手を引き離し



勝利のバットをきめた阪田選手 最終日、2位タイに急上昇した水上選手 2位タイと健闘した石井選手

で走っている格好となった。アウトを終了した段階で、阪田選手がパープレーを維持したのに対して、石井選手は4オーバーの40を叩いて1歩後退。一方、初日、77を叩いて出遅れた地元の水上見男選手（袖ヶ浦）が2バーディ、1ボギーの35をマーク、追いつきにかかった。アウトを終えた時点で、阪田36、渡辺、松田37、金子38。阪田、渡辺両選手の差は5打となった。

✳初めのセントグリーンで嬉しい優勝

インに入って、阪田、渡辺両選手いずれも10番から12番にかけてパーをキープしていたが、13番で阪田パー4に対し、渡辺は3。二人の差は4に縮まり、両選手の14番以降の展開が気になって最終組を追った。向い風の14番、阪田選手、第1打を足首まである左のラフに入れ、3オン、2パットのボギー。渡辺選手、4オン、1パットのボギー。

15番、渡辺選手のティーショットはフェアウェイ中央、一方、阪田選手は左ラフ。上がってみれば両者3オン、2パットのボギー。

追風の16番、両者揃って御神木の先、フェアウェイ中央で同じような位置。5Wの阪田選手がナイスショットでグリーン手前に運んで、3

オン、1パットのバーディ。一方、アイアンを握った渡辺選手はクロスバンカーに入れて、4オン、2パットのボギーで、その差は6打差に広がった。

17番231ヤードパー3。阪田選手はまた引っかけ左のまばらな松林の中。これを見た渡辺選手は力が入ったのか、グリーンオーバーして、2オン、2パットのボギー。阪田選手は3オン、2パットのダブルボギーと大荒れの様相だ。



なごやかな表彰式だったが、欠席者が多かったのは残念



ティーショットの打球を追う2位タイの金子選手



最終組で頑張ったが……。2位タイの松田選手

両者5打差で迎えた最終ホール、548ヤード、パー5。阪田選手はまたも左ラフへ。一方、渡辺選手はフェアウェイ真ん中。しかし、上がってみれば、両者3オン、2パットのパー。

結局、阪田選手が2位タイの4選手（水上、石井、金子、松田）に4打差をつけて、完全優勝を果たした。渡辺選手はよく健闘したものの、5打差の6位タイに終わった。最終日のプレーを振り返って、阪田選手は「初日、大きな貯金を作ったので、却って縮まらないゲームになった」と言う。さらに、「ミッドアマはもう取れないのかと思っていたが、ホームコースで、しかも、自分が改修に携わったセントグリーンで優勝できて嬉しい」と初優勝の喜びを語った。

✳表彰式の欠席多数は残念

競技終了後、5時から表彰式。140名を超える出場選手がいたはずであるが、大多数の選手が



■異色選手を拾う

中部隆選手

(久慈大洋)

本競技に、故中部銀次郎氏の長男中部隆選手（久慈大洋）が出場した。

予選競技第5ブロック（厚木国際・西）を-2、メダリストで通過し、堂々の決勝進出だ。本大会初日は79、最終日75、トータル154、31位タイとして、日本ミッドアマの出場資格を獲得したのは立派。背筋を伸ばしたスタイルは銀次郎氏の若かりし頃に瓜二つだ。たまたま、18番ホール（548ヤード、パー5）で同選手のプレーを観察した。第3打が僅かにグリーンに届かず、左手前のラフからチップ・ショット。これが『ガッちゃん』と大きな音をたて、カップイン。「見事なチップ・ショットでしたね」と声をかけると、「あんな所に打つのがいけないのです」と同選手。銀次郎氏から引き継いだ完璧主義のDNAの片鱗を見た思いであった。同選手が、ミッドアマの決勝に出るのは第2回、第3回に次いでこれが3度目。

早期に倶楽部を離れ、出席したのは僅かに30名程度。競技会は表彰式が終了するまでであることは、良識ある社会人ゴルファーとして十分承知しているはずである。優勝者を称え、ともに戦った仲間と懇談し、親睦を深めることもゴルファーとして大切なことであり、選手たちにとってはせっかくのチャンスでもある。予選会の複数のメダリストがメダルも受け取らずに帰ってしまった。ミッドアマは中堅社会人の競技だ。良識あるゴルファーとして表彰式には、是非、全員が出席してもらいたいものだ。欠席した選手諸君の猛省と自覚を促したい。

平成17年度 関東ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝競技

●開催日 平成17年9月29日(木)、30日(金) ●開催コース 袖ヶ浦カンツリークラブ・袖ヶ浦コース 7,050ヤード パー72

エントリー数146名/出場者数141名/欠場者5名

Table with 5 columns: 順位, 選手名, 所属, 第1ラウンド, 第2ラウンド, 合計. Lists participants and their scores for the tournament.

Table with 5 columns: 順位, 選手名, 所属, 第1ラウンド, 第2ラウンド, 合計. Continuation of the tournament results table.

予選競技メダリスト
第1ブロック 平本 文明(相模原) 69ストローク
第2ブロック 谷沢 正一(桜) 72ストローク
第3ブロック 吹野 耕一(都賀) 67ストローク
第4ブロック 竹原 洋行(東名) 72ストローク
第5ブロック 中部 隆(久慈大洋) 70ストローク
中川 雅義(沼津) 70ストローク

Table with 5 columns: 順位, 選手名, 所属, 第1ラウンド, 第2ラウンド, 合計. Continuation of the tournament results table.

4人のプレーオフを制した 寺村義美選手の決断

名コース 「日光カンツリー倶楽部」の謎を解くカギ

文・西澤 忠 (KGA広報委員) 写真・塚越克一、増田 収 (KGA広報委員)

一昨年、日本オープンを開催した日光カンツリー倶楽部で行われた平成17年度関東シニア選手権決勝競技は10月3日～4日、143名の選手を集めて36ホール・ストロークプレーで争われた。井上誠一設計の名コースと謳われる難コースのため混戦模様の中、優勝の行方は4人のプレーオフへとつれ、2ホール目の18番ホールをただ一人バーディで仕留めた寺村義美選手(スプリングフィルズ)が優勝した。



プレーオフ2ホール目で優勝を決めた寺村選手(右)

日光カンツリー倶楽部の“コンター・マジック”(起伏の魔術)とは?

日本のゴルフコース設計界で“名匠”といわれる井上誠一が昭和30年に完成させた日光カンツリー倶楽部はその昔、大谷川の川床だった地形に造られた河川敷コース。日光特有のごごめやなぎやマツの樹木で縁取られたコースの佇まいを見ると、誰しも信じられないかも知れない。そんな時には、現在のコース脇を流れる川を見れば判るはず。大小さまざまな岩が中禅寺湖からの水の流れを阻み、波立てている。コース造成工事はこの岩石との戦いで、グリーンやティの下には今でも集めた岩が眠っているという。そして、川床だった自然の起伏をそのままフェアウェイにした。人工的なアンジュレーションと違って、水の流れて生まれた起伏は不規則で、思いがけないボールのパウンドを生じ、不可思議な運・不運をもたらしている。

こうしたコース誕生の歴史を知ると、男体山へ向かうホールは川上への打ち上げ、逆方向へ行くホールは川下への打ち下ろしということが判る。コース敷地内の上流から下流へかけて全体で50%の高低差があり、2.5%の傾斜があるからだ。100%行って2.5%上がり下がりする勾配とは人間の感知できる限界に近い数字で、出場選手の大半はこの“コンター・マジック”(起伏の魔術)に悩まされたようだ。

たとえば、インの11番(436ヤード)パー4はメンバーの間で“松の廊下”と仇名される難ホール。このフェアウェイは1打目の落下地点が微妙にうねり、フェアウェイに落ちたボールでもキックしだいでラフに転がるケースがある。距離も長く、ドライバーを飛ばそうとするので曲がる人が多く、2日間平均スコアは4.69を記録した。とはいえ、昨今のシニア選手は飛ばし屋が多く、第2打を残り120ヤード、ピッチングウェッジで乗せた選手がいるというから、驚きだ。



優勝した寺村選手の見事なフォーム



2位タイの山下選手の力強いショット



2位タイ白井選手のフィニッシュ

続く12番(215ヤード)パー3もまた、2日間の平均スコアが3.69とパー3ホール中最難関ホールとなったが、距離の長さもさることながら、選手を悩ませたのは距離感。なぜならティとグリーンレベルが6ヤード以上の打ち下ろしとは思えず、クラブ選択に悩み、距離のコントロールも狂わせられるからであろう。2日間トータルでバーディはわずかに2個、ダブルボギーが9個も出たのである。

“ボギーの雪だるま”を止めるのは誰だ？

さて、ゲームの成り行きを見よう。初日を終わって、首位に立ったのは1オーバーの寺村義美と山下勝紀(扶桑)の両選手。1打差でそれを追うのが白井敏夫(総武)と関口幸雄(芳賀)選手で、このフォーサムが最終組。ひとつ前の組はともに5オーバーの斉藤征修(南摩城)、石井幹(千葉桜の里)、神戸誠(太田双葉)選手だった。この中では昨年の関東ミッドアマ選手権を制している神戸選手がやはり強く、1番でいきなり寄せワンが決まらずにボギーとしたが、2番、5番をきっちりバーディで仕上げてアウト9ホールを1アンダー35で廻って、トータル2オーバー。他の3名は9ホールを残して4、6、8のオー

バー・パーで、優勝争いから脱落したか?と思われる。

平成14年、ここ日光CCでの関東アマ選手権にも出場した神戸選手はその当時のヤーテージブックを持参しており、「2.5%の勾配を意識してプレーしていますが、打ち上げホールでグリーンオーバー、下りのラインを3パットの連続で、苦勞してます」とコースのマジックに翻弄されていると告白した。「井上誠一設計の罫にはまっているのかも」と笑った。

一方、最終組では寺村選手が9番でバーディを獲り、アウト1アンダー、トータル1オーバーの首位を堅持。それを山下、白井選手の2名が2オーバーで追う展開になった。

1オーバーが寺村選手ひとり、2オーバーが3名というゲームの進行で最後の9ホールを戦ううちに、曇天の空はさらに黒さを増し、いつ雨が降り出してもおかしくない暗雲が選手が行く手を遮るムードとなった。迷路のような難コースに55歳以上のシニア選手がどうチャレンジするか?だが、これはもう“我慢のゴルフ”に徹した選手が抜け出すに違いない。

“我慢のゴルフ”で最初に躓いたのは首位にいた寺村選手。難関の11番をボギー、12番をバンカーから1打で出ずにダブルボギーとして一気に4オーバーまで下げた。他の選手も試合の

大詰めを迎えてタイトルを意識したか、ずるずるとスコアを落としていく。バーディチャンスも惜しくも外し続けた神戸選手が14、15、17番をボギーとしてトータル5オーバーまで後退する。白井選手は10番でバーディを獲ったが13番でダブルボギー。その後をバープレー行進していたが、17番で左の林にティショットを突っ込み、3オン。6ヤードのパットに力が入りすぎて2ヤードオーバー。結局返しも入らず痛恨のダブルボギーとして5オーバー。寺村選手も16番グリーンで3パットしたから、山下選手と並んで5オーバー。ついに4人が一線上に並ぶ結果となったのだ。

36ホールをすべての選手が終了した時点で、「え?プレーオフ?」と首位グループの4選手が首を傾げるほど周囲のスコアがつかめていない。プロの試合と違って、ギャラリー用のスコアボードもないし、「自分はボギーの雪だるま式で駄目だ!」と思い込んでいるから、5オーバーが4人いることも見えていなかったようだ。

4選手による雨中のプレーオフ

野口競技委員長のプレーオフ宣言に呼ばれた4選手が10番ホールをスタートするころ、時刻は4時を廻ったばかりだが、秋の夕闇が辺りに迫り、先ほどから雨も降り出していた。

川下へ向かうフェアウェイの先にあるグリーンは奥や左に傾斜する難しいアンジュレーションが特徴だが、左いっばいに切られたピンを攻めた寺村選手が1ヤード、白井選手が2ヤードのバーディチャンス。勝負はここで決着すると思われた瞬間、両選手が外して悔しがる。4人すべてパー。

そして迎えた2ホール目は折り返しの18番(422ヤード)パー4。暗雲垂れ込める雨のコンディションでは向かって行く先に男体山は見えないが、確実に川上へ打ち上げるホール。それをしっかり頭に刻んでいたのは寺村選手だった。使用ティから260ヤード地点、フェアウェイ左寄りに日本



強豪神戸選手の安定したティショット

オープン用に掘られたバンカーがある。そのやや手前にティショットを刻んだ寺村選手は残り180ヤードを打つ前に考えたという。

「ついさっき36ホール目をプレーした折には6番アイアンでショートしたので、このときは5番を手にしました。会心の当たりで、手応え十分でした」と2.5%の勾配の謎は頭に刷り込まれていたのだ。

ピンハイ1ヤードにつくナイスショットだが、まだこれを入れなければ勝負は終わらない。

「ここはグリーン奥から順目、ピンの右に乗ったのだからフックライン?とキャディさんに訊くと“強めに真っ直ぐ!”というから、その通りに打ったら、入った!」と試合後のパーティで話してくれた。

平成15年の関東シニア選手権(富士小山GC)では2位だったので、「これでリベンジを果たしました」と勝者の余裕で笑顔を見せる。

昭和22年生まれだから、ジャンボ尾崎と同年齢の58歳。ツアーステージのドライバーはXシャフトの44.75インチで、平均飛距離は270ヤードとか。

勝因は?の質問に「皆さんがスコアを崩してくれたこと。それと私は雨が嫌いじゃないんです」といってまた笑った。

平成17年度 関東シニアゴルフ選手権決勝競技

●開催日 平成17年10月3日(月)、4日(火) ●開催コース 日光カンツリー倶楽部 6,790ヤード パー-72

エントリー143名/出場者129名/欠場者14名

順位	選手名	所属	第1ラウンド	第2ラウンド	合計
1	寺村 義美	スプリングフィルズ	73	76	149
2	山下 藤紀	扶 桑	73	76	149
2	白井 敬夫	扶 武	74	75	149
2	神戸 誠	田 双	75	74	149
5	小川 達	太 業	80	70	150
6	石井 幹	千 業	75	76	151
7	平澤 良雄	水 野	78	74	152
7	関口 幸雄	芳 里	78	74	152
7	宮本 清	小 業	74	77	152
10	橋松 進一	千 業	80	73	153
10	藤崎 和典	業 士	75	78	153
12	青山美男	業 士	77	77	154
12	岩井 正一	習 志	76	78	154
12	加部 剛男	東 野	78	76	154
12	山本 秋夫	大 厚	78	76	154
12	山本 隆夫	市 江	77	77	154
17	金田 昌富	上 筑	79	76	155
17	上重 修	上 筑	79	76	155
17	飯田 哲男	入 袖	76	79	155
17	入野 康昭	入 水	75	80	155
21	笠川 義久	笠 之	80	76	156
21	笠川 泰文	笠 之	80	76	156
21	島村 弘行	野 川	78	78	156
21	大田 四郎	加 小	78	78	156
25	加藤 雅之	加 小	79	77	156
25	高野 庄司	高 業	77	80	157
25	大塚幸一郎	大 成	80	77	157
25	河本三郎	河 相	81	76	157
25	山口 現朗	山 相	79	78	157
25	板井 延秋	板 千	79	78	157
25	中原 正人	中 大	75	82	157
32	富田 文雄	富 大	82	76	158
32	石地 盛義	石 地	81	77	158
32	今井 喜平	今 相	81	77	158
32	石井 重次	石 相	81	77	158
32	澤田 富之	澤 相	82	76	158
32	新倉 征夫	新 業	80	78	158
32	齊藤 健二	市 業	78	80	158
32	武井 俊雄	武 業	75	83	158
41	徳永 一充	徳 業	80	79	159
41	山島 良雄	山 業	81	78	159
41	増田 茂	増 業	80	79	159
41	鹿塚 茂	鹿 業	82	77	159
41	金本 勇	金 業	81	78	159
41	川田 充利	川 業	81	78	159
41	伊藤 俊明	伊 業	80	79	159

以上日本シニアゴルフ選手権出場資格者

■予選競技メダリスト

第1ブロック	高安 信行 (セントラル)	71ストローク
第2ブロック	宮本 清 (小 川)	71ストローク
第3ブロック	河本三郎 (相 模 原)	70ストローク
	金田 昌富 (筑 波)	70ストローク

■特別表彰

(10日出場表彰)	高橋 久雄 (東 松 山)
	本山 年夫 (藤 々 谷)
	石井 重次 (マイポイント)

順位	選手名	所属	第1ラウンド	第2ラウンド	合計
70	山口 正壽	レ イ ン ボ ー	81	82	163
70	渡邊 健	横 東	79	84	163
70	都倉 俊一	東 京	80	83	163
70	片山 正八	中 東	80	83	163
76	児島 純	東 松	85	79	164
76	兼坂 慶三	東 府	85	79	164
76	松野 眞三	府 中	84	80	164
76	伊藤 仁	相 模	83	81	164
76	勝家 哲夫	勝 東	80	84	164
76	竹中 悟	中 東	78	86	164
76	小宮 康彦	小 東	82	82	164
83	大輪 広明	大 野	82	83	165
83	加藤 明	加 新	83	82	165
83	平澤 清輝	平 新	80	85	165
83	阿部 孝信	阿 日	80	85	165
87	小林 保夫	小 日	82	84	166
87	松森信次郎	松 久	83	83	166
87	高橋 久雄	高 東	80	86	166
87	梅垣 仁一	梅 東	83	83	166
87	内藤 忠勝	内 東	82	84	166
87	山田 勲	山 東	81	85	166
87	原田 光則	原 東	78	88	166
94	佐藤 正信	佐 G M G	85	82	167
94	山口 雅司	山 口	81	86	167
94	水場 新一	水 野	79	88	167
97	齊藤 達雄	齊 オーク・ヒルズ	83	85	168
97	鈴木 正治	鈴 府	82	86	168
99	梶原 久義	梶 八	88	81	169
99	河野 晃	河 王	84	85	169
99	渡辺 宜寿	渡 甲	84	85	169
99	水野 茂	水 野	82	87	169
103	山田 瑞三	山 東	88	83	171
103	石川 久矩	石 東	84	87	171
103	石川 重人	石 東	83	88	171
103	鮫島 恒男	鮫 東	81	90	171
107	鈴木 泉	鈴 大	88	84	172
107	土志田威治	土 府	86	86	172
107	井上 久夫	井 上	86	86	172
110	島原 勇	島 京	92	84	173
111	清水 卓馬	清 水	82	92	174
111	小林 信三	小 G M G	88	86	174
111	安島 大三	安 水	89	85	174
111	佐藤 政秀	佐 筑	87	87	174
111	鈴木 英介	鈴 武	81	93	174
116	久保田忠司	久 大	91	84	175
116	眞崎 敏寛	眞 南	89	86	175
118	井手 治弥	井 新	91	86	177
118	岸 治弥	岸 野	90	87	177
120	萩島 富雄	萩 武	88	90	178
121	鈴木 宏彦	鈴 業	86	95	181
失格	寺田 孝一	寺 業	80	87	
失格	栗橋 佐々木	栗 立	80	80	
棄権	飯島 和雄	飯 江	83	83	
棄権	加藤 昌弘	加 地	84	84	
棄権	帖佐 實巳	帖 伊	87	87	
棄権	今井 孝一	今 野	90	90	
棄権	新倉 康男	新 大	94	94	
欠場	本山 年夫	本 大			
欠場	藤本 正美	藤 筑			
欠場	林 安雄	林 袖			
欠場	望月 功一	望 武			
欠場	鈴木 久男	鈴 業			
欠場	小久保武夫	小 小			
欠場	三枝 節	三 業			
欠場	友部 宣一	友 業			
欠場	高橋 健	高 業			
欠場	鈴木 正一	鈴 業			
欠場	白石 亮	白 高			
欠場	佐藤 満男	佐 高			
欠場	安田 進	安 新			
欠場	塚原 喜充	塚 新			

南雲選手、混戦を制して初優勝

持ち味は
卓抜な飛距離と
安定したスコアメイキング

★ 文・西田美千子 (KGA広報委員)
★ 写真・舟橋 一芳 (KGA広報委員)、増田 収 (KGA広報委員)



優勝杯を手に喜びの南雲選手

第5回関東女子ミッドアマ選手権決勝競技は、10月17日、18日の両日、ますます風格のあるクラブハウスにリニューアルされた小金井カントリー倶楽部 (東京都) で、予選を勝ち抜いてきた122選手により、36ホール・ストロークプレーで行なわれた。この2日間はあいにく天候に恵まれず、初日は雨天により競技中断もあって、すべての選手の競技終了が危ぶまれたが、なんとか無事に終了して事なきを得た。2日目も早朝からの雨模様で冷え込み、選手たちは自然との戦いも強いられる決勝となった。結局、接戦のすえ、南雲真理選手 (岡部チサン) が、2日間トータル158 (79、79) で、2位の栗原美佐枝選手 (小田原・松田) に1ストロークの差をつけて優勝を飾った。

混沌、最終ホールでの決着

2日間降り続いた雨の中、見事に優勝の栄冠を手にした南雲真理選手は、昨年のこの大会でも2位の座を射止めた実力の持主。南雲選手の持味は、突出した飛距離と安定したスコアメイキングだが、それを如実に印象づけたのが17番ショートホール (205ヤード) であった。南雲選手のティショットは、ややショートで、左手前のバンカー方向に飛んだ。「あわやバンカー？」と思われた打球が、辛うじてそのバンカーを越

えたが、ボールは左足がバンカーにかかるほどに接近、決してよいライとはいえない状態だった。しかし、南雲選手は、この難関も冷静に処理して、見事にパーをセーブした。

そして18番ホールでは、17番のパーセーブの勢いをそのままぶっつけ、第3打を上りのワンピン少々につけ、これをしっかりと沈め、初の優勝に結びつけた。

2位の栗原美佐枝選手は、18番ホールのボギーが痛かった。結局、この最終ホール (495ヤード、パー5) のボギーが最大の敗因となってしまった。

それにしても今回の選手権ほど取材に頭を悩ませたことはなかった。首位を独走する選手がいれば、追いやすが、上位選手の間にストロークの差がなく、優勝選手を絞り出すことが非常に困難だったからである。



南雲選手の見事なショット

平成17年度(第5回)関東女子ミッドアマチュアゴルフ選手権決勝競技

●開催日 平成17年10月17日(月)、18日(火) ●開催コース 小金井カントリー倶楽部 6,450ヤード パー74

エントリー125名/出場者122名/欠場者3名

Table with 6 columns: 順位, 選手名, 所属, 1ラウンド, 2ラウンド, 合計. Lists participants and their scores.

Table with 6 columns: 順位, 選手名, 所属, 1ラウンド, 2ラウンド, 合計. Continuation of participants and scores.

予選競技メダリスト

Table with 4 columns: ブロック, 選手名, スコア, ブロック. Lists medalists for each block.



2位.栗原選手 3位タイ.高橋選手 3位タイ.佐々木選手 3位タイ.岡橋選手

例えば準優勝の栗原選手が、午前のラウンドで、第1日目3打差あったのをパープレーで追いつけて並びかけたのをはじめ、3位タイに進出した高橋香雅美選手(小田原・松田)...

リードを維持しようとする南雲選手、追いつける栗原、高橋、佐々木、岡橋の各選手という構図で午後の展開となったが、前に述べたように栗原選手が18番でボギーを叩き、高橋選手も10番、13番でボギー、佐々木選手が10番でダブルボギー、11番、15番でボギーと後退、岡橋選手が12、14、16、18番でそれぞれボギーを叩いて、追撃に水を差す形になってしまった。

しかし、18番ホールで難かしいアプローチを2.5にオーバーさせ、そのパーパットを打ちきれずに、南雲選手に名をなさめたとはいえ、栗原選手の安定したゴルフは見事だったし、3位タイの高橋選手のねばり強いプレーぶり、同じく3位タイの佐々木選手のフロントナインでのパットの素晴らしさ、岡橋選手の見事なフォームでの真剣なプレーへの姿勢など、印象に残る選手が目立った大会でもあった。

コースを知り尽くしている恐さ

優勝した南雲選手は、7年前から小金井CCで

キャディのアルバイトをしているそうだが、その南雲選手に喜びの声を聞いてみた。

――優勝おめでとございます。

南雲 ありがとうございます。

――コースを知り尽くしているということで、逆に恐さはありませんでしたか？

南雲 ありました。例えば10番ホールなどは左へ引っかけたらノーチャンスと思い、とくに気を遣いました。グリーンもいつもお客さんになっているのと逆に切れたりして……。そんな混乱もありました。

――優勝はいつ意識しましたか？

南雲 15番の3打を左へ引っかけたり、16番はとくに難かしいホールでしたし、18番ホールを終わるまでわかりませんでした。

――ボールはよく飛んでいましたね。

南雲 2年前から飛距離が伸びました。平均220~230mだと思います。

――何か、トレーニングはしていますか？

南雲 週2回のラウンド、そして毎日5kmほど走っています。これは実はゴルフのためではなく、痩せるためだったんです。ジムにも行ってトレーニングはしています。

――これからの目標は？

南雲 自分の目標というよりは、これからはゴルフをしている娘を育てたいと思っています。

――ぜひこれからも頑張ってください。きょうはお疲れのところありがとうございます。



■特別対談

加盟倶楽部の活動状況を聞く ゴルフ場の環境改善に主眼

千葉県代表理事 関東ゴルフ連盟副理事長 小宮山義孝氏



第3回 千葉県

インタビュー・高橋正孝 (KGA広報委員長) 写真・増田収 (KGA広報委員)
〈カット・山藤和彦〉

千葉県には141倶楽部・151のゴルフコースがあり、現在89倶楽部がKGAに加盟しています。千葉県にはゴルフ場の団体として千葉県ゴルフ協会が形成されており、この組織には132のゴルフ場が加盟しています。

今回はKGA副理事長で千葉県ゴルフ協会会長である小宮山義孝さんにお話をお願いいたしました。

千葉県の現況…地域開放活動の推進

高橋 早速ですが、千葉県はKGA加盟倶楽部数が一番多く、各競技団体との連携がうまくいっている県であると認識しています。そこまで辿り着くには相当なご苦労があったと思いますが、小宮山さんが中心になって推進されたと思っています。その辺からお聞かせ願えればと思います。現在非常にいい状態できていますので他県の模範になっていますよね。

小宮山 現在千葉県には141倶楽部・151のゴルフコースがあります。全国でも北海道、兵庫の次に多いのですが、その内89倶楽部がKGAに加盟しています。その他のゴルフ場も加わって千葉県ゴルフ協会があります。ここに132のゴルフ場加盟ですので、協会として県単位では一番大きいのではないかと思います。

20年程前に千葉県で農業規制が始まりまして、県知事より「一切無農業で運営せよ」という発表が一時期行われたんです。そこで私が初代の委員長となり農業検討委員会をつくって県との

折衝を行ないました。この時点で各ゴルフ場がみな危機感を抱いて結束が強まったのです。

あの当時はゴルフ場の農業が非常に騒がれたのですが、農業農業と比べると3%ぐらいしか使用していないのです。平方メートル当りにすると殆ど使ってないのが実体です。それを幾ら主張してもバッシングは全然変わりませんでした。そこで我々も農業検討委員会で指導し、次年度に使用量40%、その後2年かけて50%ダウンを達成しまして、現在は当時よりも約65%近くダウンしているという状況です。つまり世間の環境問題に充分に対応したということです。

しかし、何故こんなにバッシングされるのか調べたところ、ゴルフ場がいろいろと行なっている活動（たとえば多方面に渡って寄与をしている）など、マスコミや一般には全く知られていなかったのです。このことがわかってから、もっとゴルフに対する認知を深めていただくということでゴルフフェスタを始めたのです。当時は今と違いますが、殆どのゴルフ場はメンバーシップでビジターはメンバーの紹介がなければ入れないとか、一般的に開放



高橋広報委員長



しない時代でしたが、社団法人の倶楽部を含む全部のゴルフ場にご協力を願って、千葉県民に対しては50%以下の費用でゴルフ場を開放するという事業を行ないました。それだけでは足りないので、ゴルフ場で納涼大会をやるなど全てを開放していったほうがいいということで、協会で資金援助をして、この様な地域開放活動を推進したのです。

当時また、暴力団問題などが提起され、これも委員会をつくりまして警察と協調を進めました。そのような経過でいろいろな事業を、支配人会と一緒にやってきているのです。

現在では環境問題も取り上げていますし、健康保険も始めました。その結果、協会はかなり加盟数が増加して半分以上が関東ゴルフ連盟に加盟しているという状況です。

高橋 ゴルフ場団体である千葉県ゴルフ協会のお話を承ったのですが、ゴルフ関連の諸団体として、体協の下部組織である競技団体とか練習場の連盟とか、いろいろな団体を1つに束ねた組織を作ることにについてはどうお考えでしょうか。

小宮山 当初、私も関わり全部一体化しようと進めて来ましたが、その後千葉県連盟の方針が違いができたのです。我々の発想では全部一体になり千葉県協会が分担金を幾らにするか決定して連盟加入を模索していたのですが、連盟としてはまだできないとのことで止まっているのが現状です。ただ、支配人会は一緒の事務所にして経費負担は協会がしています。またプロ協会、アマチュア協会とは緊密な連携をとっておりますし、体協に関して応援をしていますので、連盟と常に話し合いを持っております。

高橋 そうすると実質は1つになっているのと同じですね。そういった団体活動を進めていく上では原資が必要になるわけですが千葉県の場合はどういう形で調達されているのか差し支えない範囲でお話いただけますか。

小宮山 加盟倶楽部の会費と、利用税の還付金という報奨制度の一部を、各倶楽部から支出していただいで成り立っています。



小宮山義孝副理事長

高橋 やはりいろいろな活動をするのに先立つものがないとできませんからね。golfer活性化の話が出ましても基金ができていない県では具体性を持って進められずからね。そういう点では、千葉県は非常にうらやましいと思います。

さて今後はKGAに加盟する倶楽部は多少増える見込みはありますでしょうか。

小宮山 そうですね、勧誘活動は皆さんやっていますが、千葉県も法的整理をしたゴルフ場が相当ありますので、その辺がどうなるかが一番の問題ですね。KGA加盟はもちろん大切なことですが、協会の運営を今後どのようにしていくかが現在重要問題なのです。加盟会員であるゴルフ場にどのような情報やサービス提供ができるかなど、特別委員会をつくりまして対応し活性化しているところです。

高橋 ところで倶楽部対抗競技ですが、千葉県が一番参加倶楽部が多く、予選会場を2会場で開催していますが、更に参加倶楽部が増えてきましたので今後は3会場にしなければならないというお話も出ているようですね。競技運営の立場からすると会場を分散したほうがいいのですが、倶楽部対抗そのものの意味から見ると、その地域で普段顔を合わせない皆さんが年に1回会う機会ですし、できるだけ同じ会場に集まりたいですね。

この件について千葉県としてはどのような方向にありますか。

小宮山 私もKGAの役員をやっておりますので、運営側と参加側の両面を考えなければなりません。来年については参加倶楽部数の増加に基づき、物理的な時間の制約や会場の制約から

考えると、現実的に3会場にしなければならぬわけですが、倶楽部対抗という名で競技をすれば名誉や威信などを掲げて競うわけです。3会場になったらそういった意識が少し薄れてくる可能性は否めないと思うのです。その辺が難しいところですね。

高橋 倶楽部の立場では、参加することで非常に大きく意義を認めるところもありますからね。

●●● ゴルファー育成事業と活性化

高橋 次に、ゴルファー育成事業についてですが、千葉県として、いろいろ活動をされていると思いますが、特にジュニア育成についてはどのような形で進められていますか。

小宮山 現在は各倶楽部が育成に対して協力的に活動を行なっています。JGAやKGAではジュニア育成活動を長く行なっていますから、今後は連携をとって1つの体系的なプログラムを作り活動したいと考えています。ばらばらに活動するよりも大きな効果があるでしょうからね。

高橋 関係者の皆さんはジュニア活動の必要性をご理解されているようですね。

小宮山 それはもう十分に理解をしていますし、使命感になっています。

高橋 他県でもジュニア育成の必要性を感じて活動をしているようですが、子供たちをどうやって集めるかとか、インストラクターをどうそろえるかなど、いろいろな壁にぶつかり、とりあえずコースの開放から始めてみたら今度は責任者を付けて指導しなければならないなど、その辺で困っているところもあるようです。私の関係している県でも一時期、日本ジュニアゴルファー育成協議会で、1つのシステムを打ち出してくれて、できれば助成金までつけてくれるということで期待はしていましたが、まだそこまでではないようです。県単位である程度の統一的な動きを取るのがファーストステップなのかなと思っています。そういう動きは今後可能

になってきた段階ということですね。

小宮山 そうですね。

高橋 それから女性ゴルファーについてですが、現在平均すると、まだ全来場者13%ぐらいかと思われま。女性のゴルファーをもう少し活性化しようとか、何か県としての取り組みはありますか。例えば県の中で倶楽部対抗を催そうとか、女性だけの競技を県単位でやってみようとか。

小宮山 県単位では考えていませんが、現実12~13倶楽部ぐらいのゴルフ場が参加して、非公式ですが女性の倶楽部対抗戦のような催しは既にやっていますね。

高橋 特定の倶楽部が集まってということですね。

小宮山 まだKGAは倶楽部対抗ということでは認めていないですし、県としても認めている段階ではないんですが動き出しているみたいですね。

高橋 そうしますと、それがだんだん広がる可能性もあるということですね。女性の場合には競技志向がまだあまりないといわれますが、その辺はどうでしょうか。

小宮山 今の女性の倶楽部対抗戦という、県内で行われている競技は、必ずしも今の男子みたいに研修会から選ばれてくるというより、どちらかという古い会員でよくいらっしゃる方たちの親睦ということではないでしょうか。

高橋 しかし、ここのところジュニアの女子ゴルファーの活躍が顕著ですし、可能性として競技志向も出てくるでしょうね。それからシニア、グランドシニアといった年齢層のゴルファーのウエイトが年々高くなってきていますが、こういう年齢層の方たちに、利用税は別として県全体での何か優遇策であるとか、そういったものは実施されていますか。

小宮山 特にはありません。協会としては年齢層ということより、全体的にどのように集客を

していくのか経営面からもかなり対策費をかけてやっています。千葉県にあるゴルフ場の分布は、北総、中央、南総に分かれていて、特に南総部分は新しいゴルフ場が多いのです。神奈川県の方には怒られますけれど、今一番力を入れているのは、アクアラインの利用料金を800円にするという運動があり、ゴルフ界を挙げて協力をしています。神奈川県ゴルファーを、いかにアクアラインを使用して来場して頂くかなど継続的な協議がなされています。

高橋 それぞれゴルフ場のポジションがありますので、価格だけじゃなくて何か大きな特徴を打ち出してやっているのであればこれはやむを得ないという感覚を持つと思いますよね。

小宮山 千葉県の一般消費者の場合は、デパートへ行こうとか買い物をしたいとなると、アクアラインを使って皆神奈川へ行くようになったため木更津の商業施設は弱くなってしまったのですね。それがゴルフに限っては逆なのです。職種によっていろいろと異なりますね。

高橋 そうですね、商業エリアは本当に大変になりましたね。

小宮山 南総方面のゴルフ場はアクアラインも影響があるし料金面も低く設定して集客をしています。北総方面は値段が高いのですが、また違った方法で集客を考えています。

高橋 いろいろ県同士が接しているところでも、北に行くほど大変なのかもしれません。やはり同じように料金差などが起きていると話を聞いています。こればかりは、ある一時期はやむを得ないことだと思うのですよね。値段が安ければいいということではなくて、どこで落ちつくかという一つの均衡点を考えていかないと経営としての限度もありますからね。

●●● ゴルフ場をめぐる税金問題

小宮山 それから、ゴルフ場利用税の撤廃については、継続して千葉県の組織を挙げて取り込

もうとしています。

高橋 これは結構なことですね。ゴルフ場利用税撤廃運動は一息ついた感もありますが、ゴルフ界の発展をするうえでの問題

として、各ゴルフ場が継続してゴルフ場利用税撤廃の意識をしっかりと認識することは、とても大切な事ですね。組織として、意識を高揚する運動は重要ですのでそのような事例があれば他の県でも参考になるでしょう。まず、基本的な努力をすべきなのかもしれませんね。

小宮山 そうですね。それから別件になりますが、千葉県は観光立地としても大きく活動しているのです。何ととってもディズニーランドが千葉県第一の集客数です。これは関東地方でも一番大きいですね。次に多いのは神社仏閣への参拝、そして一般的には海水浴場と思われますが、実はゴルフ界が3番目なのです。だから県のほうも、今改めてゴルフ場に対して便宜を図ろうという形になってきていますね。

高橋 利用税を多少減らしても、その分来場者が増えれば同じことですからね。県もそういった事に理解を示すのは非常にいいことですね。その外にもゴルフ場にかかる固定資産税問題がありますが、何か県単位で活動していっていますか。

小宮山 埼玉県や東京都では、宅地並み課税が多数ありますよね。千葉県はまだ若干その辺が異なっています。この問題は、支配人会で取り上げており協会として支援をしております。具体的には、個別に各市町村と相談し対処しているようです。一部の市町村では、地価下落に対応している所があるとの報告をもらっています。どちらにいたしましても、どのように対応していくか各倶楽部で考えているところです。



高橋 埼玉ですと秩父地区での事例ですが、比較的新しく開発したゴルフ場は、ゴルフ場一体で地目が雑種地になっていて、本来の山林が雑種地扱いになったケースがあります。本来山林であってゴルフ場用地ではないのですが、千葉ではいかがでしょうか。例えば保安基準をつかって30%緑地だとか。

小宮山 はい。30%緑地だとか、やや古いゴルフ場では皆さん掛け合っているそうです。OBラインの外側とか話し合いを地元と交渉していると思います。東京都では利用税よりも固定資産税を中心に進めてきましたが、千葉県では当初この案件は上がってこなかったのですが、ここ数年で動き始めております。

環境問題と農薬問題と暴力団問題などに、補助金をいかに出すかとか、あと芝生の開発を県と一緒にやるとか、そういった事業化はどんどん進めていますね。今では県がだいぶいい芝をつくっていますよ。いずれにしても各倶楽部で事情にあわせて活動していると思います。

●●● KGAに対する要望

高橋 わかりました。それではKGAに対する要望が何かありましたら聞かせてください。先ほどもお話がありました倶楽部対抗の開催方式についてなどは県として何か特に固まった要望などありますか？例えば山梨県では、KGAの加盟が21倶楽部と少なく、参加は15倶楽部程度なので、予選競技については1倶楽部から6人に縛らずに8人ぐらいの選手を出場させてほしい、決勝競技についてはKGAの決めた枠としたいの意見でした。ただ予選でさらに何人か絞り込むのは難しいというは言われていましたけれど。加盟倶楽部が少なくゴルフ場の少ない県は、年に1回みんなが集まるのですから、それをうまくコミュニケーションの場に活用したいと思うのですが、逆に千葉県は非常に加盟倶楽部が沢山あり競技参加も多数になりますね。

小宮山 千葉は多いですからね。既に2会場に分かれていますし、これがまた3会場にしたら果たしてどうでしょうか。県でもいろいろな意見が分かれていますので、KGAの判断に従うのがいいだろうと思います。やはり物理的問題もありますしね。埼玉県は2会場にして17・17となりましたが、千葉県は2会場でも30・30というか、1会場が30倶楽部を超えるのですからね。問題なく開催できるのかわかりません。

高橋 そうですね。反対に東京や山梨などのように少数参加倶楽部の要望がどういふうに反映できるのかも気になります。実際問題はなかなか難しいかもしれませんね。

小宮山 東京都は私も関係しましたが、15か16倶楽部ぐらいの参加数に分けられると確かにいいですよ。

高橋 それからアンダーハンディ競技ですが、これも千葉県が最多参加者になるのでしょうか。

小宮山 そうです。これは支配人会と協会とが連携をとりまして会場を2会場にして、連盟で決めたことを普及しようということで一先懸命やっています。それから体協関係でもアンダーハンディ競技を行うようになりました。そこからの優勝者が出られるのですよ。

高橋 倶楽部メンバーは高齢化がどんどん進みますし、最近あまり競技志向じゃない人の割合が増えているような気がします。私の関連しているところでは、出てもらうのにかなり苦労していますよ。

小宮山 当初は各倶楽部に任せて出してくれということでしたが、なかなか浸透しませんね。千葉県は協会を挙げてやっています。支配人会から各支配人に指示があって、2会場で予選を行なうので参加者を集めようということをやっています。そこまでやらないとなかなか集まりません。

高橋 確かに、一般的には倶楽部の自主性に任せているのでしょうけど、なかなか選手は集ま

りませんよね。あまり選手が集まらなないと、せっかく会場を設営してもらっているのに開催倶楽部に申しわけないですよ。

その他では、年会費についての要望など以前は結構ありましたが、今回2年間の特別措置で延長となりましたから加盟倶楽部の皆さん方はやれやれと思っていることでしょうか。最近の要望として、競技出場者から現在KGAのエントリーフィーをもう少し下げられないかとの話を聞きました。アンダーハンディ競技は随分下がったのですが、他の競技では予選・決勝に通して出ることになると、交通費がかかる上にエントリーフィーで大変だという話もあります。試合を開催するのはコストもかかるということもありますが、競技委員の方に伺いますと、競技の参加人員はむしろ漸次増えていますし、競技参加料そのものがネックにはならないと承っているんですけどね。

小宮山 これは千葉県だけということではありませんが、交通費などがあまりかからない便の良い場所で開催するということのほうが必要なのかもしれないですね。関東といっても、長野も新潟も入っていますからね。

高橋 多少遠隔地の倶楽部からは、もう少し競技を県に持ってきてほしいという話も出ています。この辺につきましては、今競技にかかるコスト問題もありますけれど、やはりその県の関係者の皆さんとしては一種の刺激剤にもなりますしね。ここのところ開催が少なくなったとの指摘もありましたが。

小宮山 そうですね。ただ関東も広いですから、泊まる場所もない場合もあるし、泊まっても負担もかかりますからね。いろいろな要望はあるでしょうけれど検討しなければならないですね。

●●● ゴルフ場環境改善の活動

高橋 ところで、先ほど千葉県ゴルフ協会、

県と協同で芝生の品種改良をされたという話をうかがいましたが、これは助成金などを出しておやりになっているのですか。

小宮山 農業試験場がありまして、そこにキーパー会の人たちが、ゴルフ場の芝生に関してアドバイスをしたり、県内のゴルフ場のティー、グリーンやナセリーで実験をしたりして緊密な関係を作っています。そういった開発の段階で協会に対しては実験協力を求められましたが、助成金等の要求はありません。農薬って不思議なのですよ。本来農薬でないものが農薬といわれたりするのです。農薬は毒性が高く悪いものという感じがするじゃないですか、本来は害虫駆除や芝の病気を治す殺菌に使用するものが農薬なのですよ。そのようなことも含め、いろいろな研究した中でCY-2という病原菌に強い芝生を開発したのです。特に無農薬化の規制をされているゴルフ場に優先的に試作品を出荷し評価をしてきました。

高橋 確かに千葉県は他県と比べると無農薬について一番進んでいますし、その展開という意味で有意義でしょうね。農薬を減らすにも当然限界がありますし、これから先も新しいものが出てこないといけないですね。一時期、微生物の農薬なんてありましたよね。あれもテストを少々広げようと思いましたが生態の環境を変えちゃうといけないなどと随分言われましたね。そういう意味では、芝そのものの改良することは1つの進め方ですね。

小宮山 非常に県とはいいい関係を持っていますので、あらゆる面で協力しようと考えています。

高橋 結構なことですね。例えば千葉県ではそういうものの特許を取る手続きは進めているのでしょうか。

小宮山 それは取るみたいです。CY-2は千葉と雪印種苗と両方でやっているようですね。

高橋 特許を取られたら、今度は他県でも利用

できますからね。日本では芝の改良などをあまりやらないですね。

小宮山 やらないですね、やはりマーケットが小さいですからね。アメリカは国全体の芝生の需要が大きくて、家庭や公園でも芝生を使っていますからね。

高橋 その芝が出てきましたら是非テストを試してみたいですね。前に山口県でしたか、改良したエパーグリーン野芝というのが開発され、その評価をしてみようと思いましたが、やっぱり開発した土地でないと難しく、関東地区に持って来ると冬に枯れちゃうんですよ。

小宮山 だめでしたか。今の芝生改良は、生育している中で一番強いものをどんどん集めて、そこから種をとっていくという方法ですから、土地による適合性があるかも知れませんね。

高橋 確かに、例えば改良品のベントグラスでいいといわれたものが、特定の県ではあまりいい評価が出ないなどありますからね。でも、千葉県はそういう点で進んでいますね。本当に他の県でも、そういう面で県独自のものができればいいですね。

結び…しっかりした情報管理

高橋 今日予定したテーマは殆ど承ったわけですけど、何かそれ以外に小宮山さんから特にお話はありますか。例えば千葉県の支配人会ととても協調性が強くてまとまっていますよね。

小宮山 支配人会と協会を通じまして、県内の倶楽部は農業問題にしても、全部協会に一旦資料が来ますから、それから関係者に情報を流すということで、情報の交流をしっかり管理しております。協会加盟倶楽部なり支配人なりが相互に協力していますし、そういう中でお互いに補完し合うものがあったり、情報のいいものを取り合ったり、事故があっても全部情報が流れますし、それに対する対処法、顧問弁護士も

いますけれども、そういうものを各倶楽部に流すということが非常に有意義なのではないですかね。

高橋 確かにKGAとは違った、ルーチンの仕事に役に立つ情報とかですね。例のスキミング対策なんていうのはいかがですか。

小宮山 あれに対しても小冊子をつくって配布しました。他県にも渡しているみたいですけどね。

高橋 あれはもともと神奈川県らしいものですから、神奈川県では随分被害がありまして、私の関係しているところもやられましたけど。それから、対応策として支配人会で、うちはこういうものを入れたというのを構わないから話してほしいということで、セーフティボックスというか、金庫そのものの構造的な面まで話がされました。

小宮山 変わってきましたね。

高橋 だいぶ変わりましたよ。ですから、ああいう事があったために防犯対策というのがしっかりできたのかもしれないけど。私のところでは、盗難に遭った方にはすぐに全額補償しまして、ご本人とは裁判はやりませんでした。裁判をするのでしたら銀行とやりますということで、銀行も今いろいろ流動的なものですから、しばらく時間をいただきたいと、決してノーという返事ではなかったです。

小宮山 このことでゴルフ界の信用失墜になっちゃっていましたよね。

高橋 そうですね。ゴルフ場自体の信用にかかりますし、ですから被害に遭った方には即刻対応すべきだという判断をしました。

小宮山さんにはKGA役員のお立場にもかかわらず、明確なお話をいただきありがとうございます。今後の県内各組織の一層の活性化と活動のスパンを広げられますことを期待しながら注目させていただきたいと思っております。

1Rを終えて 仲間となる アンダー ハンディキャップの 楽しさ



Aクラスで優勝した工藤秀顕選手（右）と佐藤彩香選手



Bクラス優勝の野中敏夫選手（右）と内田美和子選手

良きパートナー、良きコース、
良きハンディキャップに
恵まれた晩秋の一日

文・森口静彦 (KGA広報委員)
写真・塚越克一 (KGA広報委員)

JGAハンディキャップの啓蒙と普及促進を目標として、本大会が創設されたのが平成7年。爾来、回を重ねて今年度は第11回大会である。KGA加盟正会員倶楽部会員並びにJGA個人会員を対象として開催された第1回大会にエントリーしたのは男子198名、女子48名計246名であった。その後、240から260名の人数で推移してきたが、連盟としては参加者増加の対策として、第6回大会（平成12年）からは都県体協を通じて申し込む者、第9回大会（平成15年）からは、さらにKGAゴルファーズカード会員をも対象に加えるなど参加資格を拡大してきた結果、第10回大会（平成16年）にはエントリー数過去最高の291名を記録したが、今年度は、また、以前のレベル260名に戻った。

予選競技は、1都10県12ブロック（千葉は2ブロック）に分かれて、9月20日から10月7日に開催された。各ブロックの参加枠は144名であるが、トップは千葉149名（2ブロック合計）、次いで長野126名、東京111名がベストスリー。反対に、最も少ないのは静岡で、僅か18名（女子B

クラスは参加0）。参加総人数は885名（前年度実績1224名：前年度比3割弱減）で、ブロック当たりの平均参加者は74名弱、人数枠の約半分という淋しさである。

決勝に進出したのは男子194名（Aクラス98：Bクラス96）、女子66名（Aクラス29名：Bクラス37名）の合計260名である。この中には、JGA個人会員26名、各県ゴルフ協会（体協）経由申込者12名、KGAカード会員4名合計42名が含まれている。

少ない参加者が問題

この大会の問題点は参加者が少ないことだ。特に、今年度はハンディキャップ制度が変わって小数点以下まで計算する方式になり、申込み間に合わなかった選手もいたようだ。そんな中であって、長野県予選競技の開催コースとなったグランステージCC・丸子コースの大森支配人が応援に見えていたので話を聞いた。「今年度はハンディキャップ制度の改正や予選の締め切りが旧盆の忙しい時期とぶつかったりして厳し



2位・村岡孝選手の堂々たるフォーム 松の枝の下からリカバリー 腰は引けたが、ナイスショットでスタート

かったが、赤羽専務の指示もあり、県内の加盟32倶楽部を集めて参加を呼びかけた結果、相応の成果を得ることができた」とのこと。倶楽部幹部の熱意次第で予選会の盛り上がり方が違うという良い例だ。

今大会の出場者には、神奈川県ゴルフ協会を経由の参加者が多い。その一人、大空義明選手に出場したきっかけを尋ねると、「協会から勧誘があったから」と言う。初参加の中曾啓子選手（JGA個人会員）は「JGAから封書で勧誘があったので参加した」そうだ。星野行男選手（唐沢）は「今回2度目になるが、良いコースでプレーできるので楽しみです。倶楽部で参加しようとして話し合っているが、倶楽部がもう少し宣伝すればよいと思う」とのことだった。

Bクラス2位入賞の北原貴代江選手（甲斐美



慎重に自分のカードをチェック



前夜の雨で懸命の排水作業

蓉）は「KGA委員の友人に誘われて参加しているが、非常に意義のある大会です」と本大会を楽しみにしている。同5位入賞の内田貞江選手（川越）は「倶楽部から言われて、各倶楽部2名参加の頃から参加している」とのこと。Aクラスの神戸直樹選手（赤城国際）は倶楽部に提示されているポスターを見て参加したが「良いコースでプレー出来るのが楽しみ」と言う。奥さんをギャラリーに連れての参加で、名門コースの秋を夫婦お揃いで楽しんでおられた。

本大会に僅かではあるが、KGAカード会員の資格で参加した選手がいる。その中の一人、奥正昭選手によれば、所属倶楽部がJGAハンディを出さないで、個人でJGAに登録してハンディを取得し参加したということだった。「良いコースでプレー出来るし、ギスギスした感じ

もなく楽しくプレーできた」と言う。関東グランドシニア選手権の常連でもある山崎武雄選手（多摩・75歳）は創設当初から参加しているが、「もっと賑やかにするには宣伝が必要」と指摘する。全く同感である。関係団体からの呼びかけ、倶楽部からの勧誘、連盟から



創設時から参加の山崎選手も元気にプレー



選手たちの目を楽しませる柿の赤い実

の宣伝など、一声運動でもっと参加が増えるのではないだろうか。

●Bクラス決勝競技／内田選手（女子）、野中選手（男子）に栄冠

開催コースは関東の名門鷹之台カンツリー倶楽部、第9回選手権に続き2回目となる。11月7日、Bクラスの決勝競技が開催された。前夜からの強い雨が、明け方には上がって絶好のゴルフ日和となった。正午現在の気温約21度。木々の紅葉には未だ少し早いですが、アキアカネが飛びかう9番右ラフには珍しい枝垂れ柿が簾のように沢山の実をつけて、秋の陽を浴びている。そんな季節感のある句を、同倶楽部の会誌「鷹之台」からご紹介しよう。

ティーショットはらえどいとし赤とんぼ

若林厚雨

本大会は、KGA主催競技の中で、アベレー

ジゴルファーにも優勝のチャンスがある唯一の競技だ。プレーヤーもいろいろ、スイングもいろいろ、従って、球筋もいろいろだ。ギャラリーが極めて少ない。女子はレディースティ、男子はレギュラ

ーティを使用。どことなくゴルフ場の通常の営業日のような雰囲気、選手権競技の緊張感も余り感じられない。

さて、肝心の競技成績であるが、ホールアウト順に、女子Bクラスから紹介する。

優勝内田美和子選手（房州）グロス85、ハンディ17、ネット68（-4）。倶楽部の友人から聞いて、去年から参加。去年は予選で落ちたが、今年は、月例に参加して試合慣れしたのが良かったと言う。「今日はショットが左右にぶれていたが、ラッキーで優勝できた」と謙遜する。来年はさらなる飛躍を期待したい。男子Bクラスでは、河田敏夫選手（かずさ）が-6で上がり、これで決まりと思ったが、さらにこれを4打上回る-10のカードを提出したのは、野中敏夫選手（ラ・ヴィスタゴルフリゾート：千葉）だ。倶楽部に置いてあった案内状を見て初参加、そして初優勝。初参加は優勝の資格なしのプライ



堂々、2位（A）入賞の津堅典子選手



健闘、鈴木ちえ子選手は3位（A）に



安定したショットで4位の志村幸子選手（A）



スタート前に競技委員と事務局の打ち合わせ



表彰式では参加者のほとんどが顔を見せた

(小田原・日動御殿場)が、2位津堅典子選手(カバヤ)に4打差の-6で優勝を決めた。ゴルフを始めたのは10年前、高校、大学とゴルフを続けた。本大会は2回目の出場だが、同選手は関東女子アマの常連選手。アウト38、イン36、グロス計

パートコンペティションと違う。公式ハンディがあれば、優勝もありだ。「是非、プレーしたいコースだったので、仕事を休んで馳せ参じた」と言う。ゴルフを始めて4年、40歳。ドライバーは280ヤードも飛ばす。来年はAクラスを目指して頑張りたいとのこと。野中選手の「良きパートナー、良きコース、そして良きハンディに恵まれて優勝できました」とのスピーチが印象的だった。

Aクラス決勝競技/強豪佐藤選手(女子)と悲願工藤選手の優勝

Bクラス決勝競技の翌週11月14日、開催コースは同じ鷹之台カンツリー倶楽部。僅か1週間の違いだが、12日に吹いた木枯らし第1号のせいで、季節は秋から冬に変わった感じだ。コースの樺、桜など樹木の紅葉が一層進んだ。

Bクラスの開催当日は、暑いくらいの好天気だったが、この日は、曇りで気温も正午で15度、風はほとんどない。陽の射さないフェアウェイは寒いくらいで、トンボも姿を見せない。女子はレディースティだが、男子はフルバックを使用。選手もそれなりの腕自慢揃い、打ち出す球筋は皆揃って鋭く、動きもキビキビとしている。選手権独特の緊張感が漂う。

アンダーハンディ競技は選手が上がってきてカードを提出するまで戦況は分からない。ひたすらモニターの前で成績を見ているしかない。ホールアウトは女子が先であり、佐藤彩香選手

74。アプローチとパットが良かったと言う。ホールアウト後、練習グリーンで黙々とパットの練習を続けているところをお邪魔してのインタビューであった。

男子の優勝は工藤秀顕選手(GMG八王子)で-3。倶楽部のポスターを見、上手い人とプレーすると自分のレベルアップにもなると思って参加し、今回5回目で優勝を手にした。ドライバーの飛距離は270ヤード、「アプローチとパットがうまくいって良いスコア(アウト39、イン37、グロス計76)が出た」と言う。「倶楽部の大会でも優勝できなかったのに、こんな良いコースで優勝できてうれしい」と喜びを語る。35歳、まだまだこれからの成長が楽しみな選手だ。

盛会だった19番ホール

Bクラスの表彰式も、Aクラスの表彰式もいずれも大変盛会であった。食堂に溢れんばかりの人。倶楽部の心づくしの料理に舌鼓を打ちながら、各テーブルを囲んで談笑が弾み、親睦を深める。知らぬ同士が1ラウンドのプレーを終えてゴルフ仲間となる。本大会の出場選手はいずれも自らの意志が出てきた人達だ。それだけにこの大会をどんなに楽しみにしているかがわかるような気がする。アンダーハンディ競技は我が連盟公式競技の最後を飾る大会。その19番ホールの盛り上がりを見て、また来年、この大会の参加者が一層増えることを期待した。

平成17年度(第11回)関東アンダーハンディキャップゴルフ選手権決勝競技成績表 — KGA杯 —

●開催日 平成17年11月14日(月) ●開催コース 鷹之台カンツリー倶楽部 7,102ヤード パー72

男子Aクラス エントリー数98名 出場者数93名

順位	氏名	所属	GROSS	HC	NET
1	工藤 秀顕	G M G 八 王 子	76	7	69
2	村岡 孝	信 濃	80	9	71
3	可瀬 渉	ニ ッ ソ ー	82	10	72
4	佐藤 晃	小 田 原 ・ 松 田	83	11	72
5	長山 寿也	K G A カ ー ド 会 員	79	6	73
6	佐藤 豊	あ さ ひ ヲ 丘	82	9	73
7	津端 正廣	菅 平 高 原	84	10	74
7	一之瀬 方賢	グ ラ ン ス テ ー ジ ・ 丸 子	75	1	74
7	滝澤 平人	菅 平 高 原	84	10	74
7	稲田 信之	エ ン ゼ ル	83	9	74
11	杉野 順一	皆 川 城	85	10	75
11	神戸 直樹	赤 城 国 際	87	12	75
11	松元 克己	ヨ ネ ッ ク ス	83	8	75
11	八子 正秀	エ ン ゼ ル	81	6	75
11	奥 正昭	K G A カ ー ド 会 員	81	6	75
11	荒井 孝二	エ ン ゼ ル	84	9	75
11	安藤 道秋	千 葉 グ リ ー ン パ ー ク	86	11	75
11	横山 五郎	佐 久 平	86	11	75
11	山田 克明	下 田 城	82	7	75
11	横坂 明	初 穂	84	9	75
21	白野 睦夫	昭 和 の 森	82	6	76
21	富士原 聖	か ず さ	84	8	76
21	向井 俊明	新 千 葉	83	7	76
21	樋口 憲	J G A 個 人 会 員	89	13	76
21	金子 隆夫	レ イ ン ボ ー ヒ ル ズ ・ 豊 里	85	9	76
21	井口 靖之	レ イ ク 相 模	80	4	76
21	篠原 聡	葉 山 国 際	85	9	76
21	坂東 実	埜 玉	85	9	76
21	加茂野 新一	皆 川 城	84	8	76
30	須賀 雄一	J G A 個 人 会 員	84	7	77
30	横山 義照	ハ	85	8	77
30	浜出 達弥	オ リ ム ピ ッ ク	88	11	77
33	和田 龍太郎	J G A 個 人 会 員	85	7	78
33	秋池 實	南 摩 城	84	6	78
33	岡崎 恭司	鶴 舞	86	8	78
33	玉木 田秀	オ リ ム ピ ッ ク	85	7	78
33	尾崎 勉	白 水	85	7	78
38	大木 健	J G A 個 人 会 員	90	11	79
38	梅沢 吉	初 穂	84	5	79
38	川崎 純	ア バ イ テ ィ ン グ	85	6	79
38	田中 清司	J G A 個 人 会 員	91	12	79
38	田上 剛	あ さ ひ ヲ 丘	90	11	79
38	岡澤 寿穂	南 長 野	89	10	79
38	成田 寛之	千 葉 グ リ ー ン パ ー ク	90	11	79
38	北村 慶一	信 濃	87	8	79
38	野村 隆夫	千 葉 夷 隅	88	9	79
47	椎名 博	レ イ ン ボ ー ヒ ル ズ ・ 豊 里	88	8	80
47	上杉 昌祺	石 地 シ ー サ イ ド	87	7	80
47	根本 裕	か ず さ	87	7	80

順位	氏名	所属	GROSS	HC	NET
47	春山 泰夫	初 穂	86	6	80
47	山本 正永	塩	92	12	80
47	岩瀬 敬次	千 葉 夷 隅	91	11	80
53	両角 昭	立 川 国 際	92	11	81
53	渡辺 一好	棠	93	12	81
53	宮城 宏	グ ラ ン ス テ ー ジ ・ 丸 子	92	11	81
53	本多 八男	ロ イ ヤ ル オ ー ク	90	9	81
53	小林 信三	G M G 八 王 子	89	8	81
53	中村 直正	千 葉 桜 の 里	89	8	81
53	山下 一郎	大 相 模	85	4	81
53	佐藤 正信	G M G 八 王 子	85	4	81
61	菊地 守男	富 士 見 高 原	89	7	82
61	浦辺 孝雄	千 葉 夷 隅	89	7	82
61	原島 達	埜 玉	91	9	82
61	瀬河 正信	J G A 個 人 会 員	94	12	82
65	浜村 拓也	オ リ ム ピ ッ ク	90	7	83
65	中島 智明	勝 浦	92	9	83
65	岡村 信治	岡 部 子 サ ン	91	8	83
65	奥石 正	秋 山	89	6	83
65	石井 富夫	埜 玉	91	8	83
65	吉田 広樹	高 槻	92	9	83
65	石田 久一郎	長 岡	91	8	83
65	池田 正和	横 浜	91	8	83
73	三沢 正拓	神 奈 川 県 ゴ ル フ 協 会	94	10	84
73	澤本 一利	昭 和 の 森	96	12	84
73	木村 正勝	市 原 ・ 市 原	90	6	84
73	入田 幸男	東 京 国 際	91	7	84
73	石森 秀樹	葉 山 国 際	94	10	84
73	柏沢 広昌	ス プ リ ン グ フ ィ ル ズ	92	8	84
79	松森 実	か ず さ	97	12	85
80	岩崎 美智雄	初 穂	95	8	87
80	朝川 正男	グ ラ ン ス テ ー ジ ・ 丸 子	90	3	87
82	緒方 忠昭	龍 ケ 崎	96	8	88
82	神戸 啓一	梅 ノ 郷	100	12	88
82	笠原 邦成	グ ラ ン ス テ ー ジ ・ 丸 子	98	10	88
82	下平 雅伸	菅 平 高 原	100	12	88
82	倉島 卓司	グ ラ ン ス テ ー ジ ・ 丸 子	96	8	88
82	平山 力三	フ ォ レ ス ト	94	6	88
88	武田 旬平	課 訪 湖	103	12	91
88	手塚 幹雄	東 宇 都 宮	95	4	91
90	長崎 幸司	昭 和 の 森	102	8	94
90	小野 沢邦夫	グ ラ ン ス テ ー ジ ・ 丸 子	103	9	94
失格	河田 好司	ス プ リ ン グ フ ィ ル			
失格	加瀬 健一郎	レ イ ン ボ ー ヒ ル ズ ・ 豊 里			
欠場	小林 正雄	初 穂			
欠場	金賀 敏行	昭 和 の 森			
欠場	木村 信夫	レ イ ク 相 模			
欠場	伴野 剛文	佐 久 平			
欠場	田崎 良三	J G A 個 人 会 員			

平成17年度 (第11回) 関東アンダーハンディキャップゴルフ選手権決勝競技成績表
— KGA杯 —

●開催日 平成17年11月7日(月)

●開催コース 鷹之台カンツリー倶楽部
6,559ヤード パー72

男子Bクラス エントリー数 96名 出場者数 93名

順位	氏名	所属	GROSS	HC	NET
1	野中 敏夫	ラ・ヴィスタ	84	22	62
2	河田 敏一	か ず さ	86	20	66
3	室井 公男	太平洋ソシエツ・ヒルズ	84	16	68
4	鈴木 泰弘	ゴ ー ル ド 佐 野	84	16	68
5	高間 耐典	穴 戸 ヒ ル ズ	88	19	69
6	小嶋 光男	長 瀬	83	14	69
6	林 繁夫	長 岡	95	26	69
6	梶 晋介	J G A 個人 会 員	96	27	69
9	渡辺 雄二	朝霧ジャンボリー	92	22	70
9	和田 忍	神奈川ゴルフ協会	83	13	70
9	松澤 良典	長 岡	91	21	70
9	行方 薫	桜 ケ 丘	83	13	70
13	阿部 治	神奈川ゴルフ協会	90	19	71
13	末吉 一雄	J G A 個人 会 員	93	22	71
13	飛田 正吉	小田原・松田	84	13	71
13	白石 智一	成 田 東	84	13	71
13	宮下 勝洋	ブ レ ス	87	16	71
13	高羽 成和	リバーサイドフェニックス	87	16	71
13	丸山 康夫	ダイワヴィンテージ	85	14	71
13	池田 健一	神奈川ゴルフ協会	91	20	71
21	大久保昌訓	J G A 個人 会 員	95	23	72
21	清水 佳男	グランステージ・丸子	87	15	72
21	山形 吉夫	スプリングフィールズ	96	24	72
21	小林 茂夫	初 穂	84	12	72
21	西笠 孝美	J G A 個人 会 員	90	18	72
26	石井 修一	富 里	87	14	73
26	鈴木 真一	J G A 個人 会 員	85	12	73
26	山崎 博康	菅 平 高 原	88	15	73
26	中島 学	ゴ ー ル ド 佐 野	98	25	73
26	阿部 政則	初 穂	88	15	73
31	豊田 資朗	ゴ ー ル ド 佐 野	92	18	74
31	木村 坦	ル ー セ ン ト	96	22	74
31	辻村 浩彦	ミ オ ス 菊 川	89	15	74
31	石井 邦彦	J G A 個人 会 員	93	19	74
31	星野 行男	唐 沢	95	21	74
31	大空 義明	神奈川ゴルフ協会	88	14	74
31	本多 由明	J G A 個人 会 員	89	15	74
31	村上 満	唐 沢	88	14	74
31	武馬 雄一郎	千葉よみうり	86	12	74
40	小川 悟	ゴ ー ル ド 佐 野	90	15	75
40	赤尾 義隆	埴 玉	88	13	75
40	北原 範之	南 千 葉	89	14	75
40	中原 久方	富 士 御 殿 場	88	13	75
40	明道 守弘	新 津	96	21	75
40	福井 達雄	真 名	96	21	75
40	伊藤 隆文	J G A 個人 会 員	89	14	75
40	吉田 攻	南 摩 城	89	14	75
48	真板 淳	か ず さ	89	13	76

順位	氏名	所属	GROSS	HC	NET
48	内藤 吉文	昇 仙 峡	94	18	76
48	武川 雄二	神奈川ゴルフ協会	97	21	76
48	大井 直樹	か ず さ	88	12	76
48	佐藤 孝喜	J G A 個人 会 員	91	15	76
48	大河原喜久次	ロイヤルオーク	95	19	76
48	美斉津康允	越 生	89	13	76
48	樋口 裕幸	J G A 個人 会 員	92	16	76
58	小川 俊七	八 幡	89	13	76
58	望月 光一	神奈川ゴルフ協会	93	17	76
58	大谷 利幸	戸 野	91	15	76
59	山崎 武雄	多 摩	93	16	77
59	古城 一省	森 林 公 園	94	17	77
59	福良 幹夫	菅 平 高 原	93	16	77
59	横森 良友	昇 仙 峡	98	21	77
59	前田 武夫	芳 賀	102	25	77
59	高木 信	市原後樂園ゴルフ&スポーツ	95	18	77
59	田中 照美	南 千 葉	95	18	77
59	岸根 佐門	J G A 個人 会 員	90	13	77
67	松尾 尚典	J G A 個人 会 員	91	13	78
67	児玉 哲次	南 千 葉	92	14	78
67	小布施喜康	班 尾 高 原	92	14	78
67	光野 春雄	松 本	91	13	78
67	堀越 浩彰	神奈川ゴルフ協会	98	20	78
67	高田 治	青 梅	92	14	78
67	加瀬 吉彦	富 里	92	14	78
74	大泉 順	KGAカード会員	95	16	79
74	前田 浩	梅 ノ 郷	95	16	79
76	榎本 清	小田原・松田	93	13	80
77	原 廣輝	唐 沢	96	15	81
77	伊佐山 新	グランステージ・丸子	102	21	81
77	生駒 正	菅 平 高 原	95	14	81
77	竹田 義正	高 崎 K G	98	17	81
77	柏木 幸雄	チャミングリゾート開越	94	13	81
77	小山 茂	班 尾 高 原	100	19	81
77	田中 輝雄	セ ン ト ラ ル	109	28	81
84	矢作 正夫	太 田 双 葉	99	17	82
84	芹沢 好幸	グランステージ・丸子	98	16	82
84	山本 浩孝	市原・柿の木台	92	10	82
87	川口 末男	エ ン ゼ ル	98	14	84
87	水留 茂	昭 和 の 森	100	16	84
87	中山 寛	グランステージ・丸子	98	14	84
90	石川 哲夫	甲 斐 駒	99	14	85
91	金子 秀雄	石地シーサイド	100	13	87
91	本間 賢	ル ー セ ン ト	109	22	87
93	伊藤 寿樹	諏訪レイクヒル	108	15	93
欠場	宮澤 良光	秋 山			
欠場	小林 哲二	神奈川ゴルフ協会			
欠場	稲垣 裕之	KGAカード会員			

●開催日 平成17年11月14日(月)

●開催コース 鷹之台カンツリー倶楽部
5,872ヤード パー72

女子Aクラス エントリー数 29名 出場者数 29名

順位	氏名	所属	GROSS	HC	NET
1	佐藤 彩香	小田原・日勤御殿場	74	8	66
2	津堅 典子	カ バ ヤ	76	6	70
3	鈴木ちえ子	川 越	83	12	71
4	志村 幸子	G M G 八 王 子	87	15	72
5	仁保美和子	京	88	15	73
6	柏 香織	新 津	77	3	74
6	村田トキ子	秋 山	90	14	76
7	小島とき江	ゴ ー ル ド 佐 野	91	15	76
7	川崎 春美	J G A 個人 会 員	88	12	76
7	田村 和子	初 穂	88	12	76
11	篠原 安芸	京	91	14	77
11	山口 環	J G A 個人 会 員	84	7	77
11	小林 弘美	長野県ゴルフ協会	91	14	77
14	相原ちなみ	甲 府 国 際	90	12	78
14	川谷 美子	神奈川ゴルフ協会	90	12	78
17	宮澤由紀子	秋 山	87	8	79
17	三浦美礼	G M G 八 王 子	95	15	80
17	木樽 ふさ	初 穂	90	10	80
19	浅見 玉江	相 武	92	11	81
19	澁谷 知里	フ ォ レ ス ト	83	2	81
19	多勢 リサ	スプリングフィールズ	94	13	81
19	藤津 里香	業 山 国 際	86	5	81
23	藤川 恵子	グランステージ・丸子	91	9	82
24	松山 朱実	南 摩 城	93	10	83
25	菊島 千春	業 山 国 際	99	15	84
26	松元 美幸	エ ン ゼ ル	98	13	85
27	松野 綾子	市原・市原	98	12	86
27	橋上佳代子	G M G 八 王 子	99	13	86
29	伊藤 恵子	J G A 個人 会 員	101	10	91

●開催日 平成17年11月7日(月)

●開催コース 鷹之台カンツリー倶楽部
5,872ヤード パー72

女子Bクラス エントリー数 37名 出場者数 36名

順位	氏名	所属	GROSS	HC	NET
1	内田美和子	房 州	85	17	68
2	北原貴代江	甲 斐 英 善	94	25	69
3	海瀬 敏子	菅 平 高 原	95	25	70
4	小林 ふく	白 水	90	19	71
5	内田 貞江	川 越	89	18	71
6	上野恵利子	J G A 個人 会 員	88	16	72
6	入田 光子	東 京 国 際	97	25	72
8	網野 道子	彩 の 森	93	20	73
9	堀内 節子	菅 平 高 原	99	25	74
9	小宮 紗子	日 高	90	16	74
11	大森 節子	甲 府 国 際	92	17	75
11	柏原 由佳	武 蔵 野	96	21	75
13	中野由美子	唐 沢	94	18	76
13	松本 洋子	東 京 五 日 市	92	16	76
13	関原眞理子	石 坂	95	19	76
13	三反崎れい子	スプリングフィールズ	100	24	76
17	坂津奈子	居 屋	98	21	77
17	植草 保枝	富 里	94	17	77
17	深谷 敏子	南 摩 城	97	20	77
20	堀 絹江	スプリングフィールズ	99	21	78
20	佐伯 和子	清 澄	94	16	78
22	神 泰子	神奈川ゴルフ協会	95	16	79
22	川中子トモ子	石 坂	99	20	79
22	長原 文代	柏 崎	95	16	79
25	野内 澄江	J G A 個人 会 員	101	21	80
26	松永志有子	武 蔵 野	103	22	81
26	海野 綾子	狼 島	98	17	81
26	河野 典子	八 王 子	102	21	81
26	中野 美子	広 陵	102	21	81
30	富谷 紅子	唐 沢	103	21	82
30	高橋 弘子	唐 沢	103	21	82
30	峰咲 和子	唐 沢	101	19	82
33	黒沢 厚子	J G A 個人 会 員	103	19	84
34	中曾 啓子	J G A 個人 会 員	109	24	85
35	田辺 春子	J G A 個人 会 員	108	22	86
36	保坂 幸子	丘 の 公 園 清 里	109	19	90
欠場	島村 初世	磯 子			

初優勝!

金子選手の武器は超ロングドライブ

文・塩田 正 (KGA広報委員)
写真・舟橋一芳、増田 収 (KGA広報委員)

疲労困ぱいの中で
つかんだ優勝

「きょうでプレーするのが六日目なんです、疲れました」

と、優勝した金子宗平選手(伊香保国際)は、クラブハウスへ向かいながら、五日振りに晴れ間をのぞかせている秋の空に向かって、大きく息を吐いた。9月7日から所属する倶楽部の競技会あり、プライベート・コンペティションありで、連続してこの選手権競技に臨んだのだ。

「さすがに18番に来たときには、これが最終ホールなんだと自分にいきかせながら上がってきましたよ」

と、金子選手は疲労困ぱいの様子を見せ、ティグラウンドに上がっていく足どりも重そうだった。そしてその18番のティーショットを右の林に打ち込んでしまった。前の17番ホールでも、ティーショットを右のラフに入れ、300ヤード近い飛距離を誇るドライバーの正確さに、暗いカゲを落としながら最終ホールにたどりついたのである。

金子選手が18番のティグラウンドに上がった時点で、前の組を行く2位の菅沢多仁夫選手(富士御殿場)とは2打差があった。菅沢選手は、17番ホール(349ヤード=パー4)で1.5位のパーディバットをはずして、金子選手に1打差に迫るチャンスを与えたが、それでも2打差はまだまだ圏内だ。

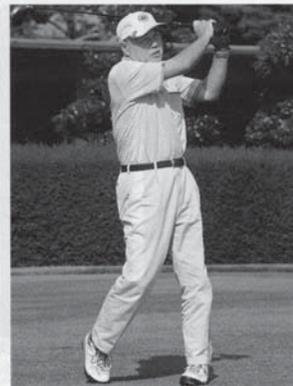
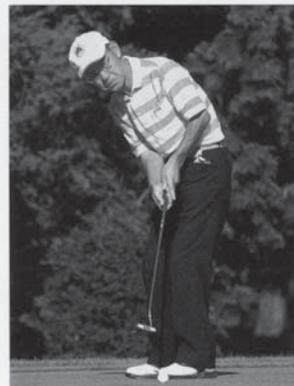


大手をひろげ、喜びの金子選手

菅沢選手との差が詰まってきているだけに、金子選手のボールの行方は大いに気になるところ。ボールは枝が低く垂れ下がる右のラフの樹木のそばだったが、フェアウェイへ打っていくぶんには問題のない位置だ。斜め前方へ出していけば、ボギーでは上がれるし、パーのチャンスもある。金子選手は、まだ運から見放されていないと見た。

このとき筆者のトランシーバーには、18番で菅沢選手がボギーを叩いたと担当の競技委員の声が届いた。2打差が3打差に開いていた。金子選手が落ち着いて、第2打をフェアウェイ左へレイアップした。金子選手本人は、「2位とどのくらい差があったか、まったく知らなかった」といっていたが、この3打差で勝負は完全に決まっていた。

「最後のバットは入れておかなかちやカッコ悪いよね」と、1.5位の上りのバットをはずし



後半バットがよく決まったが…2位の菅沢選手 ロングドライブで定評のある高橋選手 上位進出の常連、中村選手のティショット

て2打差に縮まりはしたが、危げのない勝利だった。

早いグリーンに手こずる

舞台となった武蔵カントリークラブ(豊岡コース)のグリーンのよさには定評のあるところ。とくにこの日のグリーンの上さは際立っていた。

「うちは通常3.5%の刈り高にしています。きょうもそうですが、きのうの雨模様と違って、久しぶりに晴れましたから球足がぐっと早くなったのも事実です」

と、副支配人でグリーンキーパーの大久保慎也氏はいう。

最終日はそのグリーンの上さに、出場選手は手を焼いた。優勝した金子選手も例外ではない。

「きのうと違って、きょうのグリーンは早かったですね。僕も午前の9ホールで3回も3バットをやって、40も叩いてしまいましたよ」

と金子選手は、早いグリーンに手こずった様子をこんなふうの説明する。しかし、金子選手はこの早いグリーンに優勝を争う相手も苦勞するはずと読んでいた。事実、前日、1オーバー73の金子選手に対して、3打差で2位タイにつけていた中村清選手(水戸)、さらに1打遅れた菅沢多仁夫選手(富士御殿場)、高橋久雄選手

(東松山)もスコアを伸ばしきれないでいた。午前中、菅沢選手が39、中村、高橋の両選手が40というスコアがそれを物語っている。

金子選手が、この早いグリーンを克服できたのは、10番ホールの下りのバットがきっかけとなった。

「午前中のバットは、強気にいきすぎてほとんどがオーバー。これで苦勞のタネを作ってしまった。10番ホールでは3打目をピン奥5ヤードにつけ、つづくパーディバットを柔らかくソフトに打ったらこれが入ってしまった。この距離感が基準になって、そのあとパッティングのリズムに乗れました」

以後のラウンドは、疲労のせいか相変わらずドライバーは曲がったが、正確なアイアンショットと、取り戻したこのパッティングの勘で、パープレーを続け、最終ホールでボギーにしたものの後半を36でまわり、初優勝の原動力になった。



最終ホール、樹木の枝の下から2打目をレイアップする金子選手

平成17年度 関東ミッドシニアゴルフ選手権決勝競技

●開催日 平成17年10月11日(火)、12日(水) ●開催コース 武蔵カントリークラブ・豊岡コース 6,459ヤード パー72

エントリー145名/出場者134名/欠場者11名

Table with 5 columns: 順位, 選手名, 所属, 1ラウンド, 2ラウンド, 合計. Lists 145 players and their scores.

■予選競技メダリスト

- 第1ブロック (赤城ゴルフ倶楽部) 梅澤 吉 (群馬) 70ストローク
金子 宗平 (伊勢保国) 70ストローク
第2ブロック (鎌ヶ谷カントリークラブ) Aブロック (西・東コース) 青藤 征修 (南 摩 城) 74ストローク

- Bブロック (中・西コース) 酒井 佐之 (取手 国際) 76ストローク
林 吉男 (日 高) 76ストローク
奥 東雄 (相 模) 76ストローク
Cブロック (東・中コース) 高橋 久雄 (東 松 山) 76ストローク

■特別表彰

(10回出場) 岡田 四郎 (千 葉) 岡田 光正 (東 山)

Table with 5 columns: 順位, 選手名, 所属, 1ラウンド, 2ラウンド, 合計. Lists 145 players and their scores.



昨年の優勝者、一本足の川口選手



お洒落なファッションは大場選手のトレードマーク



武蔵CC豊岡コース特有の深いグリーンサイドバンカー

円盤投でつかんだ腰の回転

金子選手の武器は、自分でも「好き」というようにドライバーだ。65歳を過ぎたミッドシニアとは思えないパワーの持主で、最盛時にはゆうに300ヤードを越えた。だが3年前に胃ガンが発見され、それを手術で切除してから「飛びが落ちてしまった」(金子選手) そうだが、体重が16kg減ったいまでも270ヤードの飛距離は固いところだ。ミッドシニアの同じ仲間たちより、常に20~30ヤードくらいアウトドライブしていた。

なぜ、65歳を越えても、こんな豪快な飛距離を保っていられるのか。実は金子選手は、知る人ぞ知る、で、35年前までは日本でも有名なトップアスリートだったのである。陸上競技の円盤投の選手として、昭和39年の東京オリンピック、さらにユニバーシアード等、国際大会にも数多く出場するという輝かしい戦歴の持主



3.5ミリの高速グリーン！練習にも熱がはいる

である。その金子選手に「円盤投の技術は、ゴルフのスウィングに役立っていますか」という問いを投げかけてみると、彼は「腰の使い方が同じですね。腰の回転が先行して、腕が後からついてくる感じがまったく同じです」と円盤投の選手時代に身につけた技法が、いまでもゴルフに生きていると語ってくれる。

だが、実際に金子選手のショットを見ると、そのスウィングに重い円盤を振り切るような豪快さはない。むしろコンパクトなスウィングでフォロースルーの大きい打ち方が目につく。「スウィングは小さいほうだと思います。大振りをするって荒れちゃいますから……」と意識的にコンパクトなバックスウィングを目指したという。それでも「飛ばなくなった」とはいえ270ヤードは確実に出るのだから凄い。コンパクトなスウィングからのアイアンの精度も高い。最終日にドライバーが多少荒れても、パーをずっと続けていけたのは正確なアイアンショットがあったからだ。

そして本人はこの優勝を「無欲の勝利」という。最終日、最終グリーンを終わるまで「自分が優勝するとは思わなかったし、2位に誰がつけているのかも知らなかった」と金子選手は淡々と語る。そしてその顔には優勝した喜びと、6日間の連闘を物語る激闘のカゲがありありと浮かんでいた。

新規加盟倶楽部紹介

トムソンナショナルカントリー倶楽部



1. 倶楽部名 トムソンナショナルカントリー倶楽部
住 所 〒322-0606
栃木県上都賀郡西方町本城字城山1451
電 話 0282-92-8888
F A X 0282-92-2222
2. 開場年月日 平成12年3月21日
3. 理事長 平本 一方
4. 倶楽部分科委員長
競 技 委 員 長 井田 和男
ハンディキャップ委員長 庄司 定勝
総 務 委 員 長 西田 豊
5. 支 配 人 神田 徳也
6. 倶楽部概要

当倶楽部は平成12年3月に廣済堂グループの中で一番新しいコースとしてオープン致しました。

東北自動車道を使って都心から1時間、栃木インターから約10分、北関東自動車道・都賀インターから約5分という好位置にあります。

約40万坪という広大な丘陵地の地形と緑を生かしながら、全英オープンで通算5回の優勝を飾ったピーター・トムソン設計による戦略性に富むゴルフコースです。

緩やかな丘陵に広がる当コースは、芽吹き、新緑そして落葉と豊かな日本の四季が感じられる美しい自然の中に位置しています。

木々の彩りを映し出す池やクレーク。プレーヤーを試すかのように配置された深いバンカー。

各ホールとも変化に富み、何度もチャレンジしたくなる魅力にあふれています。

また、クラブハウスはゴルフ発祥の地スコットランドの香り高いイメージをもつ建物です。当ゴルフ場の全体のイメージを象徴するクラブハウスと言えるでしょう。

この度の関東ゴルフ連盟に加盟を機に、会員の皆様に「喜んで頂けるゴルフ場」を目指し、従業員一同一層の努力を積み重ねていく所存です。

水戸レイクスカントリークラブ



1. 倶楽部名 水戸レイクスカントリークラブ
住 所 〒311-4306
茨城県東茨城郡城里町春園754
電 話 029-288-5600
F A X 029-288-5900
2. 開場年月日 平成2年5月20日
3. 理事長 坂本 柗美
4. 倶楽部分科委員長
競 技 委 員 長 坪井 儀重
ハンディキャップ委員長 加藤 国守
総 務 委 員 長 大橋 育夫
5. 支 配 人 仁平 宰
6. 倶楽部概要

当倶楽部は、平成2年5月にオープンいたしました。

早15年の歳月を経過し、当初植栽した木々も大きく成長しております。

新規加盟倶楽部紹介

名称の通りコース内には随所に池を配置した美しい景観でありつつ、プレーヤーにはプレッシャーをかけずに、水と、緑と、青い空、をキヤッチフレーズに創られております。

コース内の高低差はほとんどなく、『広い・平坦』を基本コンセプトに、各ホール共グリーンを直線的に狙えるレイアウトになっております。

アウト1番は、やや打ち下ろしのロングホールで、コース幅80mあり、豪快なショットが望めます。アウト6番では、第2打を池の上を狙うか、やや左の安全圏を狙うかプレーヤーの戦略を掻き立てるレイアウトになっております。

イン10番もコース幅70mあるロングホールであり、こちらはティーグラウンド前の池の横に配置された滝により清々しいスタートホールとなっています。イン15番ショートはグリーン周りが池に囲まれている為、正確なアイアンショットが要求されます。

又、ティーグラウンドが各ホール共平均1,200㎡あり、その日のティーマーク位置によりスコアメイクが変わり、プレーの度に違った面白さがあると思います。

今回の加盟を機に、会員の皆様はもちろんのこと、全ゴルファーに喜ばれ、愛されるゴルフ場に従業員一同一丸となって一層の努力をしていく所存です。

ザ・カントリークラブ グレンモア



1. 倶楽部名 ザ・カントリークラブ グレンモア
住 所 〒270-1506
千葉県印旛郡栄町龍角寺字谷田川1236-3
電 話 0476-95-5555
F A X 0476-95-5395
2. 開場年月日 平成3年7月21日
3. 理事長 大河内昇一
4. 倶楽部分科委員長
競 技 委 員 長 高橋 弘
5. 支 配 人 山下 勝滝
6. 倶楽部概要

ザ・カントリークラブ グレンモアは、平成3年7月に世界を代表するゴルフコース設計家であるピート・ダイが「そこにある風景をより印象的な風景として際立たせ、同時にドラマティックな戦略を宿したアート作品を創造する」という設計思想を理念としたオールドスコティッシュの造形美で、美しい旋律のように流れる台地のうねりを日本の地に見事に実現させたコースとして各方面より高く評価されております。

18ホール、6,811ヤードのそれぞれのホールに複数のティグラウンドを取入れ、ホールの戦略性は多彩に変化し、フェアウェイは自然と一体化したアンジュレーションを持たせ、プレーヤーに正確なショットを要求しています。

プレーヤーを魅了し、時には威圧感を持たせる巨大な池は「ゴルフはドラマチックに終わらなければならない」というピート・ダイの思想が隠されており、バンカーはペナライズする罠として設置されておらず、ホール攻略への標識となるように造られております。

また、クラブハウスには200人が着席できる大ホールを完備し、大小のコンペ開催に 대응しております。

今回の加盟を機に、理事会・会員の方々・従業員が一体となって心地よいクラブライフを満

新規加盟倶楽部紹介

喫できるような情熱を注いでいく所存でございますので、これまで以上のご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

ジェイゴルフ霞ヶ浦



1. 倶楽部名 ジェイゴルフ霞ヶ浦
住 所 〒311-2432
茨城県潮来市茂木279-1
電 話 0299-64-6661
F A X 0299-64-5556
2. 開場年月日 平成4年5月16日
3. 理事長代行 福長 育成
4. 倶楽部分科委員長
競 技 委 員 長 本間 勉
ハンディキャップ委員長 三宅 康仁
フェロウシップ委員長 石津 健光
コースハウス委員長 小島 兼芳
5. 支 配 人 大和田 隆
6. 倶楽部概要

当倶楽部は本年4月1日に譲渡を受け、東京建物グループのゴルフ場として、9月3日に「Jクラブ霞ヶ浦コース」から「ジェイゴルフ霞ヶ浦」に名称変更し、リニューアルオープンいたしました。

東関東自動車道の潮来ICを降りて約9km、首都圏から約70分で、フラットで恵まれた地形にコース内高低差が僅か10mという18ホールズへ。過度な豪華さを求めない、モダンで洗練されたクラブハウス。コンセプトは「Another Style」

最良のホスピタリティに最新鋭のゴルフシステム。本物を追い求めるおとなのゴルファーを魅了します。

水と樹木と大地のアンジュレーションが美しい、7,121ヤードのコースは距離とフェアウェイの幅が十分にあるので、思い切ったロングドライブが楽しめます。その一方でハザードがコースを引き締めており、攻め応えがあるレイアウトに。大きくてうねったグリーンは速いため、コースレートはブラックティーで73.5。スターティングホールとフィニッシングホールはハウス前に配置され、アウトは時計回りにインは逆回りに円を描いているため、コース敷地外のOBラインがアウト・インで左右に来るフェアな設定になっています。特に池とクリークが難易度を高める18番ホールは、ジェイゴルフ霞ヶ浦の名物ホールです。

リモコン式乗用カートにはGPSナビゲーションシステムが装備され、ハザードやピンまでのヤードージは勿論、コースの攻略方法まで大型モニターで表示し音声でガイドしてくれる優れたもの。各ホールのスコアを入力すれば、プレー終了と同時にスコアをプリントアウトし皆様にお渡しします。入力したスコアは、ご自宅のパソコンから当倶楽部のホームページの「MYページ」でスコア管理もできます。また、コンベ集計はスコアカードの提出が不要です。運行管理も行えマスター室のモニターで全カートの位置も一目瞭然、カートへ雷注意などのメッセージも流せます。

チェックイン・チェックアウトシステムは会員の皆様は勿論、ゲストも来場時にお渡しする「Jカード」を差し込むだけでチェックイン手続きが完了、サインの必要がありません。チェックアウトもナンバーを読み込ませて内容を確認後、クレジットカードか現金を入れるだけで、

新規加盟倶楽部紹介

精算が出来て領収書が発行されるためお手間を取らせません。

今回の加盟を機に、会員の皆様とスタッフ一同で、クオリティーの高い倶楽部を目指して努力して参りますので、宜しくお願ひいたします。

上野原カントリークラブ



1. 倶楽部名 上野原カントリークラブ
住 所 〒409-0112
山梨県上野原市上野原6887
電 話 0554-63-2525
F A X 0554-63-2528
2. 開場年月日 平成11年10月5日
3. 理 事 長 窪田 和孝
4. 倶楽部分科委員長
競技及びハンディキャップ委員長 富田 条一
フェロウシップ委員長 高橋 克郎
コース委員長 佐波 和
ハウス及び食堂委員長 長田 信一
プロ及びキャディ委員長 西村 國彦
5. 支 配 人 三田 豊彦
6. 倶楽部概要

当倶楽部は、平成11年10月に旧東相模ゴルフクラブより譲渡を受け、正会員1,076名、平日会員320名、計1,396名の会員制新倶楽部としてオープンいたしました。

中央自動車道高井戸ICから上野原ICまで約50km、上野原ICから約6kmでゴルフ場に到着

し、富士山をはじめ権現山、雨降山等々を望める雄大な景観のなかで、ゴルフを堪能していただけます。

緩やかな東向きの斜面に展開されるコースは、クラブハウスからその全貌を見渡すことができ、鮮やかな緑と木立の薫りさらに鶯を初めとする小鳥のさえずりなど、豊かな自然に身をまかせてのラウンドが楽しめます。

自然の造詣を生かした18ホールは、変化に富んだコースレイアウトながら、ブラインドホールも少なくのびのびとプレーでき、ホールバイホールも乗用カートでの移動のため疲れ知らずで、プレーのたびに新鮮な味わいが得られます。

フェアウェイは広く、美しい池やバンカーが適度に配置され表情豊かな戦略性の高いホールをかたちづくっております。また、手入れの行き届いたグリーンは微妙なタッチを要求され、ビギナーから上級者までそれぞれのプレーを楽しんでいただけます。

レストランは、本場中国の料理人が腕を振るう中華料理をメインとして、季節感溢れる和洋食も用意され、バラエティーに富んだメニューを取り揃えております。

今後コース整備にはより一層重点を置き、今回の加盟を機に、プレイヤーの皆様がより気持ちよく快適なプレーを楽しんでいただけますよう従業員一同一層努力して参りますので、今後とも宜しくお願ひいたします。

KGAの競技日程等は
KGAホームページをご覧ください。

<http://www.kga.gr.jp>

平成17年度
臨時常務理事会(第4回)議事録

日時 平成17年10月17日(月)正午
場所 KGA会議室
出席者 吉田理事長、
小宮山副理事長
稲川、岩宮、大原、齋藤、
高橋、塚原、萩原、森川、
渡邊各常務理事

定刻、吉田理事長、議長を務め開会を
宣し、議事録署名者として塚原 裕、
森川幸美両常務理事を指名した。

— 討議及び決議事項 —

議題1「事務局長交替の件」

小宮山副理事長より、小林省一事務
局長より健康上の事由による退任届
が提出されたことを報告し、後任は
加藤重正氏を推薦したい旨提案し承
認された。

報告事項

吉田理事長より、次の2件につき、
報告があった。

①平成18年度関東倶楽部対抗競技
開催方式の件

7月14日開催の常務理事会に於
いて、平成18年度関東倶楽部
対抗競技の予選開催方式を各都
県に一任することを決定した。
については、10月31日までに事
務局に開催方式

を書面にて提出して頂くようお
願いたい。

②財団法人ゴルフ協会評議員候補に
ついて

関東ゴルフ連盟より選任されて
いる財団法人ゴルフ協会評議員の
任期が平成17年9月30日をもっ
て任期満了となったため、理事

長、副理事長で協議の上、次記
の諸氏を候補者として推荐し、
10月6日開催の財団法人ゴルフ協
会臨時理事会において決定され
た。

石川 周
(大洗ゴルフ倶楽部)
岩宮 浩
(湯河原カントリー倶楽部)
川手 士郎
(我孫子ゴルフ倶楽部)

紅露 昭通
(筑波カントリークラブ)
小坂 健介
(長野カントリークラブ)
近衛 通隆
(東京ゴルフ倶楽部)

齋藤文志郎
(フォレストゴルフクラブ)
高橋 正孝
(日高カントリークラブ)
土川 丈夫
(武蔵カントリークラブ)

堀 正彦
(小金井カントリー倶楽部)
茂木友三郎
(千葉カントリー倶楽部)
森川 幸美
(GMG八王子ゴルフ場)

安田 弘
(那須ゴルフ倶楽部)
渡邊満之助
(エンゼルカントリー倶楽部)

全議事終了後、吉田理事長12時50分閉
会を宣した。

平成17年度
第2回 コース・レート委員会議事録

日時 平成17年4月27日(木)

午後2時
場所 九段会館 瑠璃の間
出席者 大原委員長
大久保、松岡副委員長
王月、佐久間、中部、南雲、
平本、渡辺各委員

— 討議及び決議事項 —

定刻、大原委員長、開会を宣し、下記
議題を順次上程、議事に入った。

①査定数値決定について

以下の倶楽部のコース・レートを決
定した。

新規査定
ホワイトバーチカントリークラブ、
初穂カントリークラブ

15年再査定
鳳琳カントリー倶楽部、新潟サンラ
イズゴルフコース、ダイヤグリーン
倶楽部

②査定スケジュールについて

配布資料に基づき、順次日程を決定
した。

新規査定
● ゴールデンクロスカントリークラ
ブ 6月22日(水)

15年再査定

● 大森野カントリークラブ
6月15日(水)
● 筑波カントリークラブ
9月9日(金)

改造査定

● 都賀カントリー倶楽部
8月3日(水)
● 富士箱根カントリー倶楽部
6月29日(水)

③JGA合同コースレート査定について

当初7月11日～12日の予定であった
が、JGA理事会との重複を避け、7

月14日～15日に変更されることとな
った。場所は岩手県の安比高原ゴル
フクラブで、出席委員については今
後の査定スケジュールを調整して決
定することとした。

平成17年度
第3回 コース・レート委員会議事録

日時 平成17年6月24日(金)
午後2時

場所 九段会館 瑠璃の間
出席者 大原委員長
大久保、岡田、
松岡副委員長
生田、王月、岡橋、阪田、
白井、寺村、中部、平本、
森、渡辺各委員

— 討議及び決議事項 —

定刻、大原委員長、開会を宣し、下記
議題を順次上程、議事に入った。

①査定数値決定について

以下の倶楽部のコース・レートを決
定した。

新規査定
ゴールデンクロスカントリークラブ

15年再査定
成田ゴルフ倶楽部、千葉カントリー
クラブ・梅郷コース、浜松シーサイ
ドゴルフクラブ、大平台カントリー
クラブ、高坂カントリークラブ・米
山コース、高坂カントリークラブ・
岩殿コース、大森野カントリークラ
ブ

机上査定
箱根カントリー倶楽部

②査定スケジュールについて
配布資料に基づき、順次日程を決定

した。
新規査定
● Jゴルフ霞ヶ浦 9月16日(金)
● アザレアカントリー倶楽部
10月20日(木)

15年再査定
● 葉山国際カントリー倶楽部・エメ
ラルド 10月24日(月)

改造査定
● 鹿島の杜カントリー倶楽部
10月27日(木)

③JGA合同コースレート査定について
配布資料を基に2日間のスケジュー
ル、内容を確認した。尚、7月15日
はメイレイクヒルズカントリークラ
ブの査定が入っているため、出席委
員については正副委員長で再度検討
して決定することとした。

平成17年度
第4回 コース・レート委員会議事録

日時 平成17年9月27日(火)
午後2時

場所 九段会館 瑠璃の間
出席者 大原委員長
大久保、岡田、
松岡副委員長
生田、王月、阪田、佐久間、
中川、中部、平本、渡辺各委
員

— 討議及び決議事項 —

定刻、大原委員長、開会を宣し、下記
議題を順次上程、議事に入った。

①査定数値決定について
以下の倶楽部のコース・レートを決
定した。

②査定スケジュールについて
配布資料に基づき、順次日程を決定

新規査定
オークビレッジゴルフクラブ、Jゴ
ルフ霞ヶ浦

15年再査定
厚木国際カントリー倶楽部(西・
東)、メイレイクヒルズカントリー
クラブ、都賀カントリー倶楽部、葉
山国際カントリー倶楽部・ダイヤモ
ンド、筑波カントリークラブ、鴻巣
カントリークラブ

改造査定
富士箱根カントリークラブ、立野ク
ラシック・ゴルフ倶楽部

机上査定
富里ゴルフ倶楽部、カレドニアン・
ゴルフクラブ

②査定スケジュールについて
配布資料に基づき、順次日程を決定
した。

新規査定
● 水戸レイクスカントリー倶楽部
9月16日(金)

● 鴨川カントリー倶楽部
10月20日(木)

● 藤岡温泉カントリー倶楽部
11月14日(月)

● トムソン ナショナル カントリー
倶楽部 11月25日(金)

15年再査定
● 大洗ゴルフ倶楽部 10月24日(月)

● 袖ヶ浦カントリー倶楽部・新袖コ
ース 11月1日(火)

● レイクランドカントリー倶楽部
12月9日(金)

● 都留カントリー倶楽部
11月28日(月)

● 伊豆大仁カントリー倶楽部
11月10日(木)

改造査定
● 実戸ヒルズカントリー倶楽部
10月27日(木)

平成17年度
第7回 月例競技委員会議事録

日時 平成17年10月5日(水) 正午
場所 関東ゴルフ連盟事務局会議室
出席者 中野委員長
小室、阪田、嶋田各副委員長
河本、神津、小坂、桜井、
高橋、額賀、平山、星野、
山崎、渡辺各委員
学生連盟委員

— 討議及び決議事項 —

①9月度月例競技報告及び総括

嶋田副委員長より、下記の報告及び総括がなされた。
「むずかしいホールロケーションであったが前夜の雨のため当初予定していたほどグリーンは速くなかったので、選手は苦戦しながらも健闘した。当月の集中豪雨により数ホールが被害を受けたためフェアウェイにも修理地指定をせざるをえなかった。開催倶楽部には早朝より高配賜った」

エントリー数他は以下のとおり
開催日 平成17年9月21日(水)
コース 箱根カントリー倶楽部
エントリー 112名 (男子79名
女子33名)
欠場者数 事前連絡1名
(男子1名)
当日連絡 0名
無断欠席 0名
出場者数 11名 (男子78名
女子33名)
科 罰 者 0名
失 格 者 0名
棄 権 者 1名 (男子1名)
次回プレーオフ なし

②10月度月例競技について

10月度月例競技は東京ゴルフ倶楽部にて開催されるが、コースセッティングは中野委員長、小室副委員長および高橋委員に一任することを確認した。

③その他

- (1)来年度競技日程について
各交渉担当委員より交渉状況が報告され、全委員これを確認した。来年度競技は1月からの開催のため、未決定月については早急に決定することとした。
- (2)競技参加人数について
競技参加人数がここ数ヶ月減少傾向にあることについて、規定の見直しを含め今後の検討事項とすることとした。
- (3)次回委員会開催日について
次回委員会は10月26日(水) 正午より関東ゴルフ連盟事務局会議室にて行うこととなった。

平成17年度
第8回 月例競技委員会議事録

日時 平成17年10月26日(水) 正午
場所 関東ゴルフ連盟事務局会議室
出席者 中野委員長
小室、嶋田両副委員長
河本、桜井、高橋、額賀、
平山、渡辺各委員

— 討議及び決議事項 —

①10月度月例競技報告及び総括

嶋田副委員長より、下記の報告及び総括がなされた。
「前日と前々日の降雨のためグリーンのコンパクションは予想より軟ら

かかったが、状態は良く、スティンブメーターは11フィート位でいた。グリーンエッジやエプロン付近で「肩」が落ちている形状のグリーンのため、選手は大変苦労していた。攻守の「メリハリ」の出来ている選手が上位であった。開催倶楽部には最高のコンディションを提供していただき、また運営にもご尽力賜った。ミーティングで高反発クラブの規制についてとジュニア選手の服装、マナー、エチケットについて啓蒙した」

エントリー数他は以下のとおり
開催日 平成17年10月21日(金)
コース 東京ゴルフ倶楽部
エントリー 151名 (男子115名
女子36名)
欠場者数 事前連絡4名
(男子4名)
当日連絡 2名 (男子2名)
無断欠席 0名
出場者数 145名 (男子109名
女子36名)
科 罰 者 1名 (女子1名)
失 格 者 2名 (男子2名)
棄 権 者 1名 (男子1名)
次回プレーオフ なし

②11月度月例競技について

11月度月例競技は茨城ゴルフ倶楽部・西コースにて開催されるが、コースセッティングは中野委員長、小室副委員長および渡辺委員に一任することを確認した。

③その他

- (1)来年度競技日程について
平成18年度競技日程がすべて決定し、事務局より締切日および各担当委員が発表された。

(2)備品の作成について

中野委員長より来年度競技で使用する備品(距離計測器、ストップウォッチ等)の購入についての説明があり、全委員これを了承した。

(3)高反発クラブの規制について

平成17年10月4日(火)に適合ドライバーヘッドリストが発行されたことを受け、現時点でのルール、定義等を確認した。また、競技者への周知徹底のためホームページでのPRや組合せ表にて注意を呼びかけることとした。

(4)次回委員会は11月25日(金) 正午より関東ゴルフ連盟事務局会議室にて行うこととなった。

平成17年度
第9回 月例競技委員会議事録

日時 平成17年11月25日(金) 正午
場所 関東ゴルフ連盟事務局会議室
出席者 中野委員長
小室、嶋田両副委員長
河本、神津、小坂、桜井、
高橋、平山、渡辺各委員
学生連盟委員

— 討議及び決議事項 —

①11月度月例競技報告及び総括

平山委員より、下記の報告及び総括がなされた。
「早朝の冷え込みは厳しかったが11月としては絶好のゴルフ日和であった。ホールロケーションが比較的難しい位置のため予想より好スコアは出なかったが、女子の優勝スコアの76ストロークは立派であった。選手に配布したホールロケーションシートと実際のホールロケーションに違

いがあったので、委員会として、競技前日または当日の朝、確認作業について考えるべきであると思われる。」
エントリー数他は以下のとおり

開催日 平成17年11月22日(火)
コース 茨城ゴルフ倶楽部・西コース
エントリー 119名 (男子71名
女子48名)
欠場者数 事前連絡3名
(男子3名)
当日連絡 0名
無断欠席 0名
出場者数 116名 (男子68名
女子48名)
科 罰 者 0名
失 格 者 0名
棄 権 者 0名
次回プレーオフ なし

②12月度月例競技について

12月度月例競技は鷹之台カントリー倶楽部にて開催されるが、コースセッティングは中野委員長および小室、嶋田両副委員長に一任することを確認した。

③その他

- (1)ホールロケーションの確認について
平山委員からの11月度競技報告にあるとおり、ホールロケーションの確認作業の必要性が討議された。しかしながら、①月例競技は自主運営を基本方針としている、②委員会の規模(人数等)があまり大きくない、③冬期開催時は確認作業が困難である、等の理由により基本的には現行通りとするが、当日の朝、可能であれば確認作業を行うこととした。

- (2)出場停止規定の見直しについて
現規定(男子)では61位以下の選手は次回1回出場停止となっているが、選手のレベルアップとともにカットラインが上昇し、厳しい規定となってきている。また、各月のエントリー数も減少傾向にある。
従って、平成18年度より次回1回出場停止の規定を66位以下とすることとした(女子の規定については従来通り)。
- (3)次回委員会は12月14日(水)に相模カントリー倶楽部にて行うこととなった。

平成17年度
第2回 ジュニア育成委員会議事録

日時 平成17年11月25日(金)
午後3時
場所 セルリアンタワー東急ホテル
白妙の間
出席者 大鷲委員長
笠川、川島、嶋田、中島、
藤園各副委員長
荒井、安藤、稲富、大西、
神谷、唐木、北本、小林、
佐藤、田村、東福寺、中村、
廣瀬(浩)、堀田、矢島、
安岡、山岡、吉田、
米澤各委員
澁谷、務臺、長岡、
小野各都県委員

— 討議及び決議事項 —

討議に先立ち、大鷲委員長より今年度のジュニア活動が無事終了したにつき、委員諸氏に対し感謝と御礼の表明があった。
次いで大鷲委員長が議長となり議事進

行を行なった。

①平成17年度ジュニア育成活動総括・反省事項

●関東ジュニアゴルフ選手権競技
今年度の申し込み総人数は783名で、前年比で36名減であった。男子、女子共12歳～14歳の部は年々増加しているのに対し、今年度は特に男子15歳～17歳の部が前年比-66名と大幅な減少であった。

(予選)

7月19日に6会場で開催した。富士カントリークラブから茨城ゴルフ倶楽部に会場を変更し、それに伴うブロック割の変更を行った。例年同様エントリーミスや、練習日の欠席など若干の問題も残したが、全会場大きなトラブルもなく、終了することができた。4部門合わせて160名の選手が決勝競技に進出した。

(決勝)

今年の決勝競技は相模原ゴルフクラブ・東コースでの初開催となり、距離、ローカルルール、ホールロケーションなど、コース設定全般にわたる見直しを行い、またここ数年懸案であった女子15歳～17歳の部を2日間競技で開催することとした。コースセッティングは厳しく、プレーの進行に影響があったため、競技当日は出席委員が3組に1名ずつ同行する運営体制とした。表形式では大鷲委員長より、倶楽部の歴史や、一ヶ月後の日本オープン最終予選開催によるコースセッティングの難易度や、倶楽部のスロープレー対策などの話がなされた。そのようなコースで精一杯健闘したことは、選手にとって今後のゴルフに役立つ経験になったと思われる。

予選、決勝を通じ、帽子の型(キャップ、バイザー)や色、クラブハウス入場時の服装について多くの問合せが寄せられた。特に最近ではサングラスとサンバイザーの着用についての問合せが多い。また、クラブハウス入場時の服装については制服がない学校や運動靴着用の学校などもあるため、今後高ゴ連、開催倶楽部との細かい打合せが必要である。

●ジュニア・ゴルフスクール

参加人数の増加について
今年度は春夏ともに参加者が増加した。しかし他団体との過密スケジュールに変更は無いので今年度は日程が重ならなかったためと思われる。今後も引き続き開催日程について検討していきたい。
小学生については、ジュニア育成委員会で徹底することとした、①適正なプレーイングディスタンス
②クラブの本数制限③親権者の同伴形式の3か条を守り開催運営をした。
ハイランドセンターはショートコースの練習場でKGAのスクールとしては初開催であった。初級者および初めてゴルフをする初心者ジュニアを対象とし、細やかな指導で大変好評であった。
初級者教室にて、小学生が練習場でふざけて他の生徒にクラブを振りかざすという事件があり、後日親権者に厳重注意をした。怪我は無かったものの、指導員が付いていてもこのような危険な事も起こりうるため、今後も今まで以上に注意をして運営することを確認した。

●ジュニアゴルフ大会

朝霧ジャンボリーゴルフクラブ
小学生対象の競技形式で行う大会として第5回を迎えた。1日目はスクール、2日目は親権者によるスコアラー同行方式で大会を開催した。参加人数は90名。昨年まで同時期に開催していた若洲ゴルフリンクスを来年の春休みに時期を変えたために大幅な参加者増加となった。

1日目のスクールは落雷によりラウンドレッスンを中止し練習場のみでレッスンを行った。2日目も雷雲発生のため中断した。落雷の危険と進行を見極めるため全委員が終了するまで各コースに留まって運営することとした。
5,372ヤード パー72
男子高学年優勝は74ストローク
女子高学年優勝は76ストローク

②平成18年度ジュニア育成活動について

2006年より主催競技において「高反発クラブ」の使用を競技の条件で規制することについて、関東ジュニアゴルフ選手権においては、ジュニアの経済的負担を考慮し、規制しないことを確認した。従って2006年、2007年の関東ジュニアゴルフ選手権競技において、「高反発クラブ」を使用することはできるが、日本ジュニアをはじめとするJGA主催競技や、倶楽部対抗競技やアンダーハンディキャップ選手権競技以外のKGA主催競技においては規制されることになるので、それらの競技に出場予定の選手は充分注意をして準備を進める旨の案内を送ることとした。

平成17年度
第3回 広報委員会議事録

日時 平成17年9月16日(金)
午後3時30分
場所 KGA会議室
出席者 高橋委員長
伊室副委員長
片山、塚越、西澤、西田、増田、森口各委員

— 討議及び決議事項 —

議事に入る前に、委員長より7月14日(木)開催の常務理事会並びに理事会において、KGAニュース掲載写真の来年からカラー化と本年分の部分カ

ラー化が承認された旨の報告があった。

①KGAニュース89号総括

9月15日発行の月号から写真の一部のカラー化及び見易い字体の採用をした結果の確認を行なった。又これによりコストが増加しないよう関係先との交渉を進めることとした。

②KGAニュースNo.90企画案

都県インタビューは千葉県とし競技取材以外に競技ルールの頁を用意する。
事務局長新任挨拶を載せる。
カラーページは女子ミッドアマを予定。

③その他

- (1)過去の取材写真のストックを整理するシステムを確立し、今後の記念誌などにニーズに備える。
- (2)ホームページのトップページ他、写真掲載部分の見直しをする。高、(1)(2)は小委員会を作り進める。
- (3)今後投稿記事の起用も考え、特定したテーマの設定などにより来年年以降に企画する。

以上の審議と報告を終了し午後4時30分に閉会した。

月例競技成績表

〔平成17年度9月月例〕平成17年9月21日(水) 箱根カントリー倶楽部

男子	ランク	スコア	氏名	倶楽部	女子	ランク	スコア	氏名	倶楽部
	1	70	竹石 要佑	筑波		1	75	金子 弥生	東名厚木
	2	71	角田 浩	那須小川		2	79	鯉淵 梨沙	紫塚
	3	72	園田 峻輔	東千葉		2	79	岡橋 早里	相模
	3	72	宇佐美祐樹	鷹					
	5	73	神戸 誠	太田双葉					

〔平成17年度10月月例〕平成17年10月21日(金) 東京ゴルフ倶楽部

男子	ランク	スコア	氏名	倶楽部	女子	ランク	スコア	氏名	倶楽部
	1	68	岡田 卓麻	千葉国際		1	80	神津 成美	下野
	2	70	庄司 由	秦野		2	81	関根奈穂美	セントラル
	2	70	宇佐美祐樹	鷹		2	81	南雲 貴菜	岡部チサン
	4	71	園田 峻輔	東千葉					
	4	71	金 浩延	都賀					
	4	71	谷山 優太	ノースショア					

〔平成17年度11月月例〕平成17年11月22日(火) 茨城ゴルフ倶楽部・西コース

男子	ランク	スコア	氏名	倶楽部	女子	ランク	スコア	氏名	倶楽部
	1	72	豊島 豊	東千葉		1	76	江澤三智子	習志野
	2	74	岡田 卓麻	千葉国際		2	79	佐藤 彩香	小田原・松田
	2	74	阪田 哲男	袖ヶ浦		3	80	落合 麻紀	小田原・松田
	2	74	竹石 要佑	筑波		3	80	吉永会梨佐	岩瀬桜川
	2	74	早乙女剛史	皐月・佐野		3	80	綾田 紘子	大宮国際
	2	74	水上 晃男	袖ヶ浦		3	80	南雲 真理	岡部チサン
	2	74	室野 歩	東千葉					

お知らせ

関東ゴルフ連盟は、(社団法人)東京青年会議所「じゃがいもクラブ」長谷部亮平代表より、ジュニアゴルファー育成の一助としてご寄付をいただき、9月2日(金)に授与式を行いました。

KGAジュニア育成委員会としてありがたく頂戴し、有効に使わせていただくことを約束いたしました。

左 大鷲俊朗ジュニア育成委員長
右 長谷部亮平氏



KGA主催競技における「高反発クラブ」規制について
平成18年度より「高反発クラブ」の使用を規制する
競技がありますのでお知らせいたします。

詳しくはKGAホームページをご覧ください。

<http://www.kga.gr.jp>

使用規制競技	使用規制しない競技
関東アマ選手権	関東倶楽部対抗
関東ミッドアマ選手権	関東ジュニア選手権
関東シニア選手権	関東アンダーハンディキャップ選手権
関東ミッドシニア選手権	
関東グランドシニア選手権	
関東女子選手権	
関東女子ミッドアマ選手権	
関東月例競技選手権	

関東ゴルフ連盟「加盟倶楽部便覧」の変更事項は次記のとおりです。訂正加筆をお願い申し上げます。(12月2日現在)

倶楽部名	倶楽部代表者	■赤羽ゴルフ倶楽部
■(新) 那須伊王野カントリークラブ (旧) 藤和那須カントリークラブ 会社名 (新) 那須伊王野カントリークラブ ラブ倶	■チャーミング・リゾート ワイルドダックカントリークラブ (新) 坂本 正浩 (旧) 平野 和男/山本 竺	(新) 松澤 淳二 ■戸塚カントリー倶楽部 (新) 産形 晴彦 (総支配人) (旧) 上野 義矩 (総支配人)
■(新) チャーミング・リゾート ワイルドダックカントリークラブ (旧) ワイルドダックカントリークラブ 会社名 (新) 樹チャーミング・リゾート ワイルドダッククラブ	■大利根カントリークラブ (新) 安西 邦夫 (旧) 渡邊 宏	■レインボーカントリー倶楽部 (新) 本間 和雄 (旧) 石川 修 ■イーストヒルゴルフクラブ (新) 五十嵐 豊 (旧) 高橋 信
■(新) 南千歳ゴルフ&リゾート (旧) 南千歳ゴルフ倶楽部 会社名 (新) 南大多喜ヒルズリゾート	■鳩山カントリークラブ (新) 水落 陽典 (新) 岩崎 伝造 (旧) 山崎 治平 (旧) 黒住 昌昭	東京事務所 ■チャーミング・リゾート ワイルドダックカントリークラブ 〒104-0028 中央区八重洲2-2-1 ダイヤ八重洲口ビル3F TEL 03-3243-8984 FAX 03-3243-8795
■(新) クリアビューゴルフクラブ &ホテル (旧) 大利根チサンカントリークラブ	■鷹之台カンツリー倶楽部 (新) 関根 宏一 (旧) 小池 康雄	■南千歳ゴルフ&リゾート 閉鎖 ■太閤カントリークラブ 閉鎖
理事長 ■那須伊王野カントリークラブ (旧) 藤田 雄山	■相武カントリー倶楽部 (新) 小野 稔 (旧) 小野光太郎	所在地 (市町村合併により郵便番号、電話番号、FAX番号の変更はありません) ■胎内高原ゴルフ倶楽部 (新) 新潟県胎内市夏井1244-1
■チャーミング・リゾート ワイルドダックカントリークラブ (旧) 平野 和男	■大箱根カントリークラブ (新) 後藤 高志 (新) 大野 俊幸 (旧) 三上 豊 (旧) 三戸部 厚	電話番号 ■かずさカントリークラブ 0436-96-1214
■大利根カントリークラブ (新) 安西 邦夫 (旧) 渡邊 宏	■湘河原カンツリー倶楽部 (新) 後久 敬二 (旧) 玉真 俊一	退会 ■サンランドゴルフクラブ ■七倉ゴルフ倶楽部
■鳩山カントリークラブ (新) 水落 陽典 (旧) 黒住 昌昭	■芦の湖カントリークラブ (新) 守山 吉明	■七倉ゴルフ倶楽部
■南千歳ゴルフ&リゾート (新) 渡邊 昌一 (旧) 佐藤 英治	支配人	■七倉ゴルフ倶楽部
■相武カントリー倶楽部 (新) 小野 稔 (旧) 小野光太郎	■胎内高原ゴルフ倶楽部 (新) 石栗 裕一 (旧) 緒形 幸一	■東京都ゴルフ連盟 会長 (新) 蛭田 正 (旧) 田原 和夫 事務局長 (新) 西田喜久治 (旧) 岩瀬東海林
■大箱根カントリークラブ (新) 後藤 高志 (旧) 三上 豊	■那須伊王野カントリークラブ (新) 平澤 淳 (旧) 藤岡 一也 (総支配人)	
■葉山国際カンツリー倶楽部 (新) 井上 裕之 (旧) 片岡 秀子	■ノースショアカントリークラブ (新) 早川 俊明 (旧) 富島 裕二	
■湯河原カンツリー倶楽部 (新) 後久 敬二 (旧) 岩宮 浩	■チャーミング・リゾート ワイルドダックカントリークラブ (新) 菅木 敏夫 (旧) 森口 泰二	
	■熊鷹パークカントリークラブ (新) 田辺 浩之 (旧) 矢島 実	

平成17年12月20日発行 KGA ニュース No.90

発行所/関東ゴルフ連盟 東京都千代田区麹町2-12 CTS麹町ビル3F TEL.(03) 5275-0391 ホームページ <http://www.kga.gr.jp>

発行人/吉田 友明 編集/広報委員会